

平成25年度
県民アンケート調査
報告書

< 概要版 >

平成25年11月

奈良県

目次

第1章 調査実施概要

1 調査の目的	1
2 調査項目	1
3 調査の設計	1
4 調査票の配布・回収の状況	1

第2章 調査結果の概要

1 県民の生活全般について	
1-1 現在の暮らし向きの実感	3
1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感	4
1-3 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由	5
1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無	6
1-5 日頃の生活での悩みや不安の内容	7
1-6 奈良県の住みやすさの評価	8
1-7 将来の奈良県での定住意向	9
1-8 将来的に奈良県に定住したくない理由	10
2 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について	
2-1 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度の関係	11
2-2 地域別の重要度と満足度の比較	23
2-3 ライフステージ別の重要度と満足度の比較	25
2-4 旧住民・新住民別の重要度と満足度の比較	27
3 県民の生活に関する意識やニーズについて	
3-1 観光振興について	28
3-2 雇用対策の推進について	30
3-3 文化振興について	33
3-4 安全・安心の確保について	34
3-5 回答者について	36

第1章 調査実施概要

1. 調査の目的

県民にとって身近な生活に関する事柄についての重要度・満足度のほか、「観光振興」、「雇用対策の推進」や「文化振興」等に関する意識やニーズを把握し、今後の県政運営の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2. 調査項目

県民の生活全般に関する項目、県民にとって身近な生活に関する項目についての重要度と満足度を5段階で問う項目、「観光振興」、「雇用対策の推進」や「文化振興」等に関する意識やニーズ及び回答者の属性を問うフェイスシートから構成されています。

3. 調査の設計

■調査地域	奈良県全域	■調査対象	県内在住の満20歳以上の男女・個人
■調査標本数	5,000人	■標本抽出法	層化二段無作為抽出法
■調査方法	郵送配付・郵送回収	■調査時期	平成25年5月20日～6月7日

4. 調査票の配付・回収の状況

調査票配付件数 5,000件 → 有効回答数(率) 2,774件 (55.5%)

■ライフステージの区分と区分の設定条件及び有効回答数

区分	区分の設定条件	有効回答数	構成比
若者	20～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者	137	4.9%
夫婦	20～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者	276	9.9%
育児期	小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者	234	8.4%
教育期前期	小・中学生、高校生・高専生の子どもがいる世帯の回答者	431	15.5%
教育期後期	専門学校生・短大生・予備校生・大学生(院生)の子どもがいる世帯の回答者	124	4.5%
単身高齢者	65歳以上の単身世帯の回答者	131	4.7%
高齢者夫婦	65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者	433	15.6%
非該当		1,008	36.3%
合計		2,774	100.0%

■旧住民・新住民の区分と区分の設定条件及び有効回答数

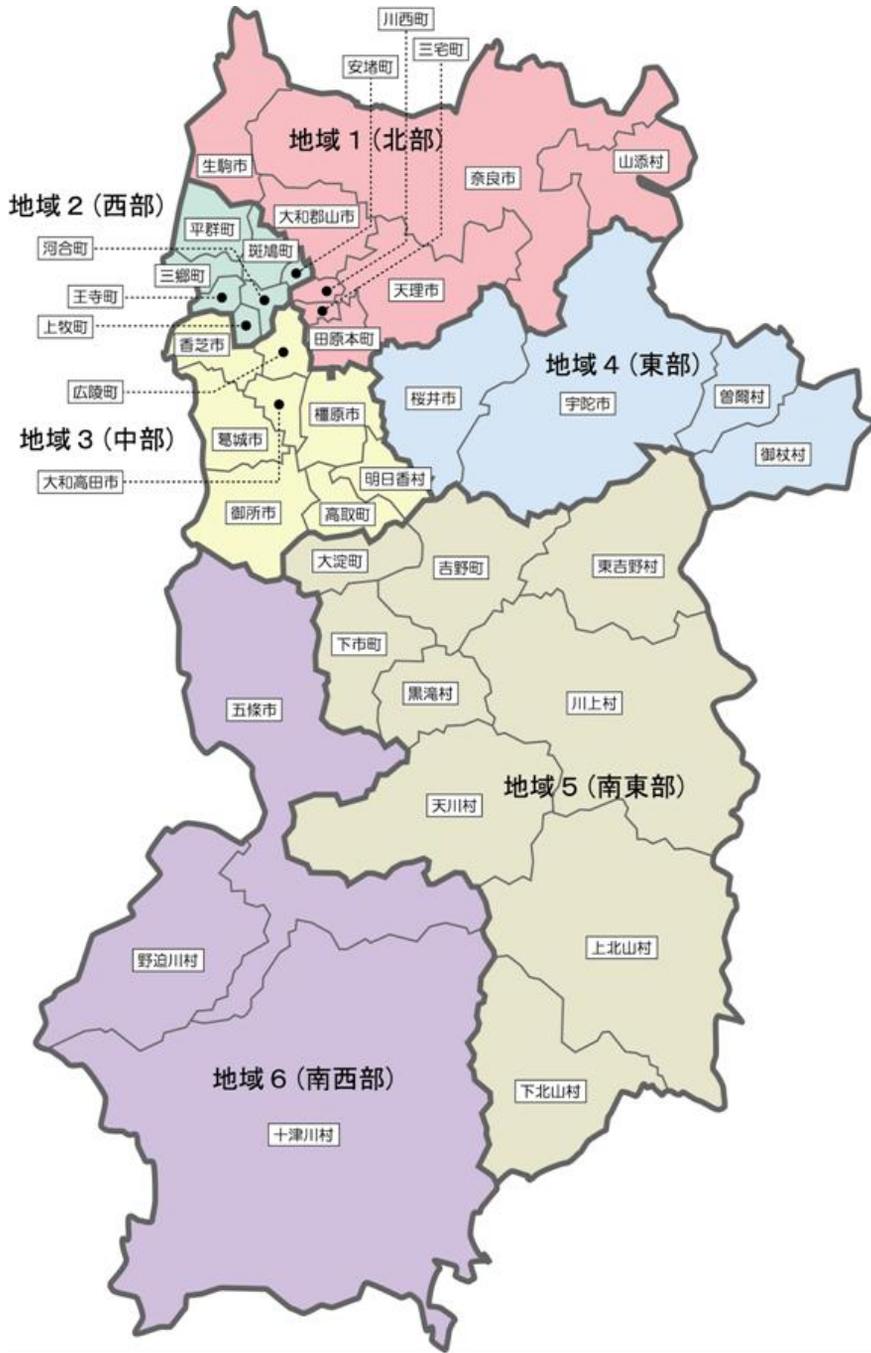
区分	区分の設定条件	有効回答数	構成比
旧住民(奈良県にずっと住んでいる人)	生まれたときから奈良県に住んでいる回答者	1,381	49.8%
新住民(奈良県に新しくきた人)	生まれたときは奈良県に住んでおらず、移住してきた回答者	1,314	47.4%
無回答		79	2.8%
合計		2,774	100.0%

■奈良での就労区分と区分の設定条件及び有効回答数

区分	区分の設定条件	有効回答数	構成比
奈良県外で働いている人	就労場所が奈良県外の回答者	409	14.7%
奈良県内で働いている人	就労場所が奈良県内の回答者	1,049	37.8%
無回答		31	1.1%
非該当		1,285	46.3%
合計		2,774	100.0%

(注) ライフステージ区分は、「年齢」、「世帯構成」、「子どもの成長段階」の複数の要素を組み合わせて設定している。区分に該当しない対象者、2人以上の子どもがいる対象者がいるため、実有効回答数の合計(1,766件)は対象者数(2,774件)と一致しない。なお、構成比は対象者数に対する比率である。

地 域 の 区 分



区分名	市 町 村 名
地域1 (北部)	奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町
地域2 (西部)	平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町
地域3 (中部)	大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町
地域4 (東部)	桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村
地域5 (南東部)	吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村
地域6 (南西部)	五條市・野迫川村・十津川村

第2章 調査結果の概要

1 県民の生活全般について

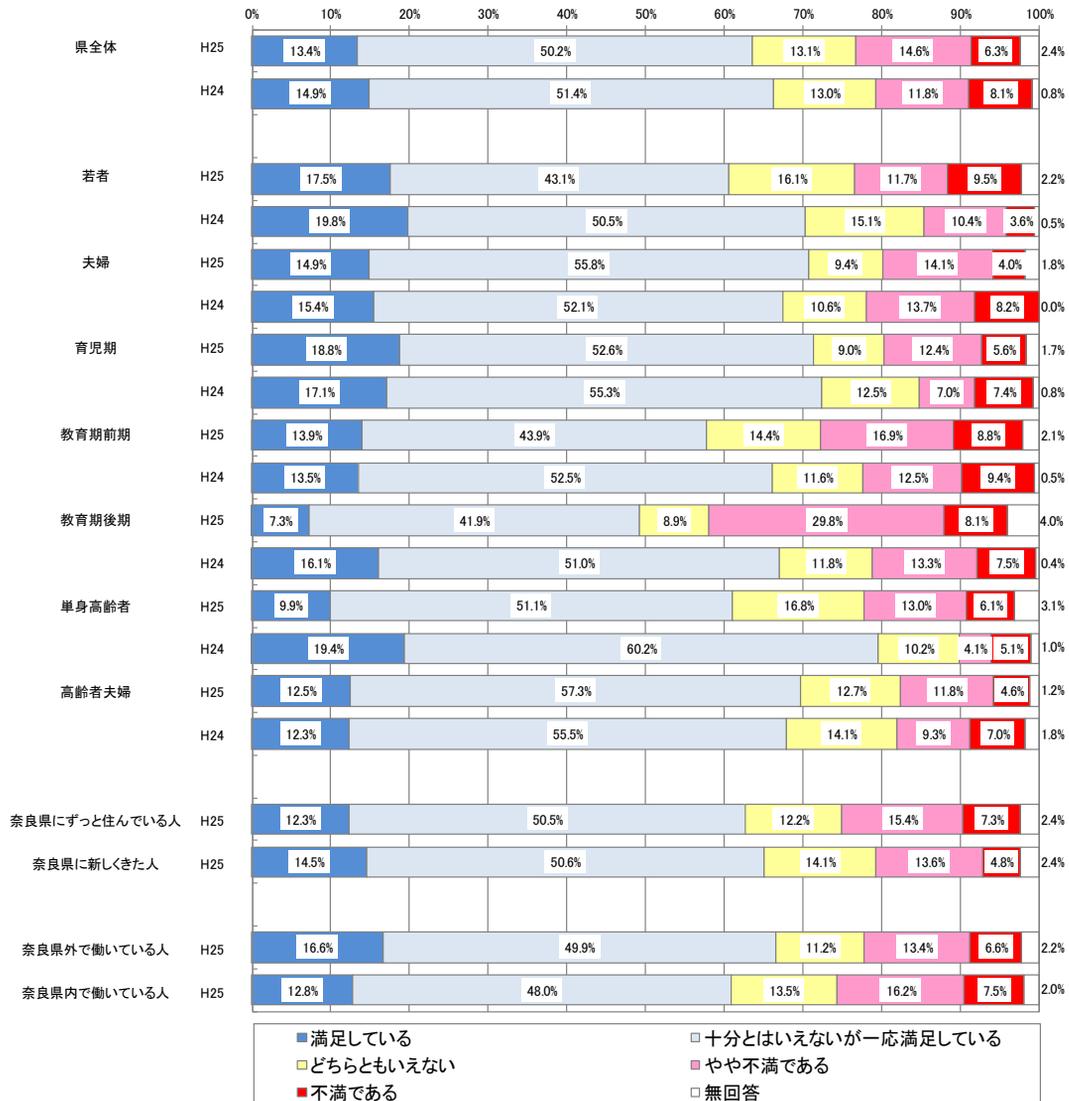
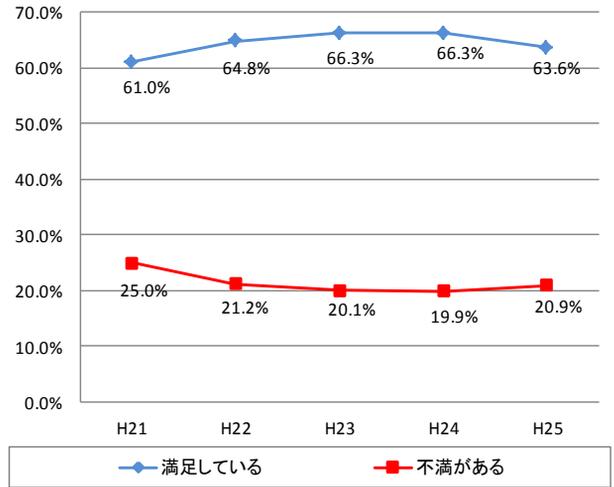
1-1 現在の暮らし向きの実感

■5年間で比較すると、「満足」（「満足している」＋「十分とはいえないが一応満足している」）している人は昨年度までの増加傾向から、今年度は減少となっています。「不満」（「やや不満である」＋「不満である」）を抱えている人は増加しています。平成24年度と比較すると、「満足」している人が2.7ポイント減少し、「不満」を抱えている人が1ポイント増加しています。

■ライフステージ別にみると、「満足」している人が最も多いのは、「育児期」（71.4%）、「不満」を抱えている人が最も多いのは、「教育期後期」（37.9%）となっている。

■旧住民、新住民別にみると、「満足」している人は、「奈良県に新しくきた人」（65.1%）が「奈良県にずっと住んでいる人」（62.8%）と比べ多くなっています。

■奈良での就労別にみると、「満足」している人は、「奈良県外で働いている人」（66.5%）が「奈良県内で働いている人」（60.8%）と比べ多くなっています。



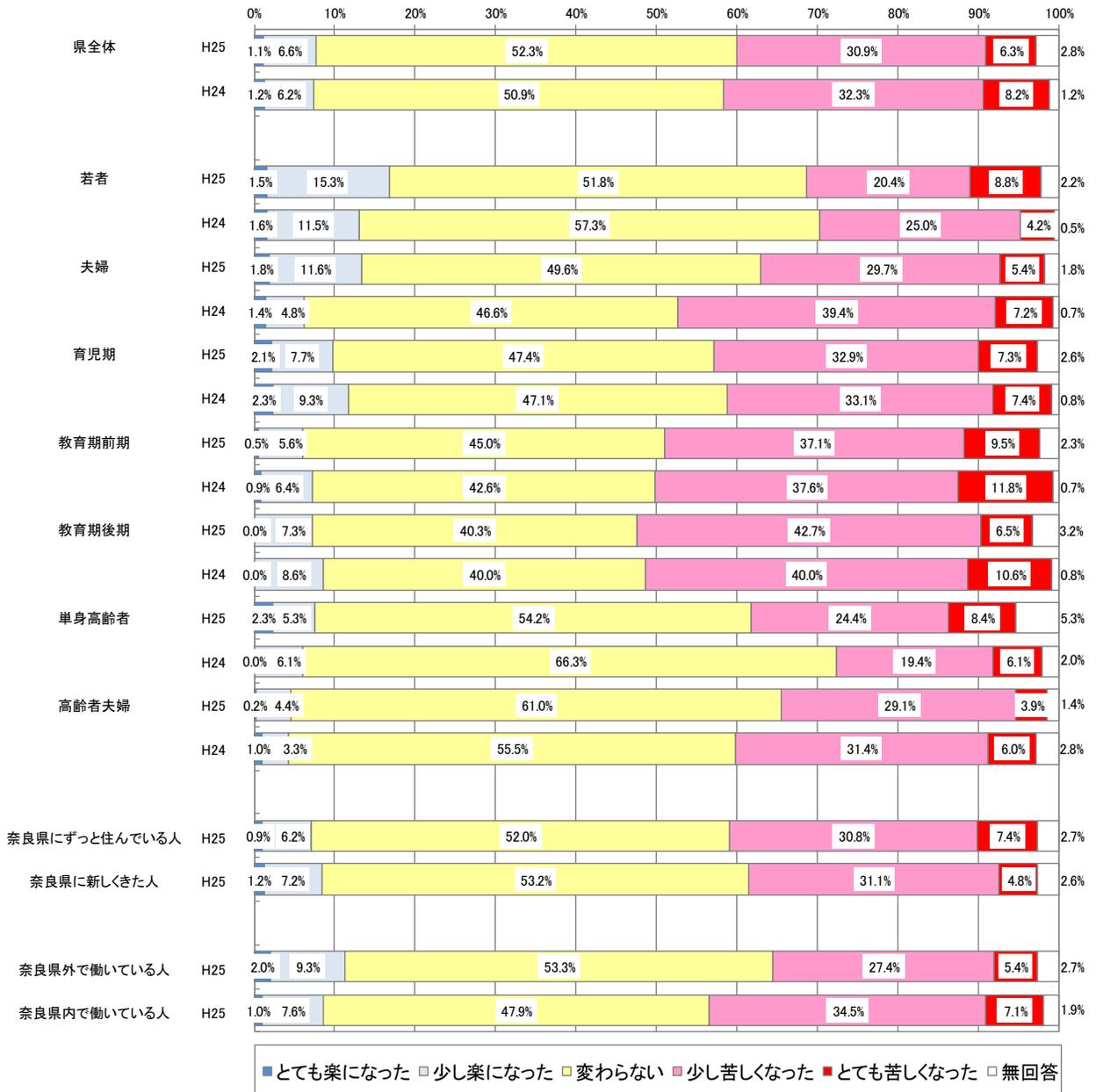
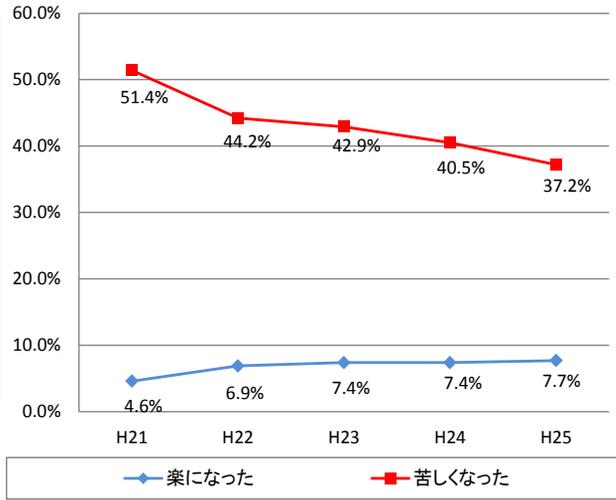
1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感

■「楽になった」と感じている人は平成21年度から増加傾向にあります。一方で、「苦しくなった」と感じている人は平成21年度から減少傾向にあります。

■ライフステージ別でみると、「苦しくなった」と感じている人は、「教育期後期」（49.2%）「教育期前期」（46.6%）で他のライフステージと比べ多くなっています。

■旧住民・新住民別にみると、「苦しくなった」と感じている人は、「奈良県にずっと住んでいる人」（38.2%）が「奈良県に新しくきた人」（35.9%）と比べ多くなっています。

■奈良での就労別にみると、「苦しくなった」と感じている人は、「奈良県内で働いている人」（41.6%）が「奈良県外で働いている人」（32.8%）と比べ多くなっています。



1-3 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由

■1年前と比較して暮らし向きが「苦しくなった」と感じている人に対して、その理由を尋ねたところ、「給料や収益の減少」(64.5%)が最も多く、次いで「税金等の支払いの増加」(41.3%)、「毎日の生活費の増加」(29.8%)が多く挙げられており、また平成24年度と比較するとそれらの項目で値が高くなっています。

■ライフステージ別にみると、「単身高齢者」をのぞくすべてのライフステージで「給料や収益の減少」が最も多く挙げられています。「単身高齢者」では「税金等の支払いの増加」が最も多く挙げられています。平成24年度と比較すると、「若者」で「毎日の生活費の増加」が27.1ポイント増加しています。

■旧住民・新住民別にみると、どちらの住民においても、「給料や収益の減少」が最も多く挙げられています。「奈良県にずっと住んでいる人」(68.2%)が「奈良県に新しくきた人」(60.9%)と比べて値が多くなっています。

■奈良での就労別にみると、どちらの就業状況においても、「給料や収益の減少」が最も多く挙げられています。「奈良県内で働いている人」(80.3%)が「奈良県外で働いている人」(73.1%)と比べて値が多くなっています。

(上段：平成25年度結果、下段：前年度からの増減)

		給料や収益の減少	税金等の支払いの増加	毎日の生活費の増加	家や自動車の支出が増えた	教育にかかる費用が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別な出費があった	利率の低下などにより預貯金が減り	家業や商売などにかかる営業費が増えた	その他	無回答
県全体		64.5% 0.7	41.3% 4.7	29.8% 5.6	27.2% 3.0	23.4% ▲0.9	20.1% 1.0	19.0% 1.9	15.2% ▲3.6	6.8% ▲1.3	9.2% ▲0.1	1.5% ▲0.2
ライフステージ別	若者	75.0% 14.3	47.5% 10.0	45.0% 27.1	22.5% ▲7.9	15.0% 2.5	17.5% 3.2	27.5% 2.5	5.0% 1.4	2.5% 0.7	7.5% ▲3.2	2.5% ▲1.1
	夫婦	70.1% ▲2.0	46.4% 3.0	16.5% ▲1.1	25.8% ▲1.4	9.3% 1.2	32.0% 7.7	29.9% 6.4	19.6% ▲1.0	8.2% 0.1	6.2% ▲0.4	0.0% 0.0
	育児期	70.2% 3.9	50.0% 0.0	53.2% 3.2	37.2% 2.6	46.8% ▲6.1	13.8% 0.3	27.7% 0.8	8.5% ▲2.1	4.3% ▲2.4	6.4% 3.5	1.1% 0.1
	教育期前期	70.6% 0.8	34.8% ▲0.6	33.3% ▲1.1	26.9% ▲1.2	67.7% 2.4	10.4% 1.7	12.4% 3.4	7.0% ▲2.7	3.0% ▲4.3	4.5% 0.7	1.0% ▲1.1
	教育期後期	75.4% 0.0	36.1% 3.0	27.9% 1.7	23.0% ▲1.6	62.3% ▲6.2	11.5% 5.3	9.8% ▲3.3	9.8% ▲0.2	4.9% ▲2.0	3.3% ▲0.5	0.0% ▲0.8
	単身高齢者	30.2% ▲5.8	32.6% ▲3.4	23.3% 3.3	14.0% ▲2.0	0.0% ▲4.0	20.9% 4.9	18.6% 6.6	27.9% ▲4.1	0.0% ▲16.0	20.9% 12.9	4.7% 0.7
	高齢者夫婦	48.3% 5.3	41.3% 2.2	22.4% 5.8	28.0% 10.1	0.7% 0.7	17.5% 0.3	21.0% ▲1.5	24.5% ▲3.3	9.1% ▲0.8	18.9% 2.3	3.5% 2.2
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	68.2% -	42.8% -	29.9% -	27.8% -	22.0% -	19.3% -	18.4% -	16.3% -	9.5% -	7.6% -	1.1% -
	奈良県に新しくきた人	60.9% -	39.7% -	30.6% -	26.5% -	25.7% -	21.2% -	19.3% -	12.5% -	3.8% -	10.6% -	1.5% -
就労別の	奈良県外で働いている人	73.1% -	39.6% -	27.6% -	21.6% -	32.8% -	16.4% -	9.7% -	11.2% -	6.7% -	10.4% -	1.5% -
	奈良県内で働いている人	80.3% -	39.8% -	30.0% -	28.8% -	31.1% -	11.7% -	16.7% -	11.0% -	11.0% -	6.6% -	0.2% -

(注) 集計結果は「県全体」の平成25年度の結果が多い項目順(「その他」を除く)に並べている。太字は「その他」を除いた平成25年度の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは平成24年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。なお、「-」は前年度未調査のため数値がないことを示している。

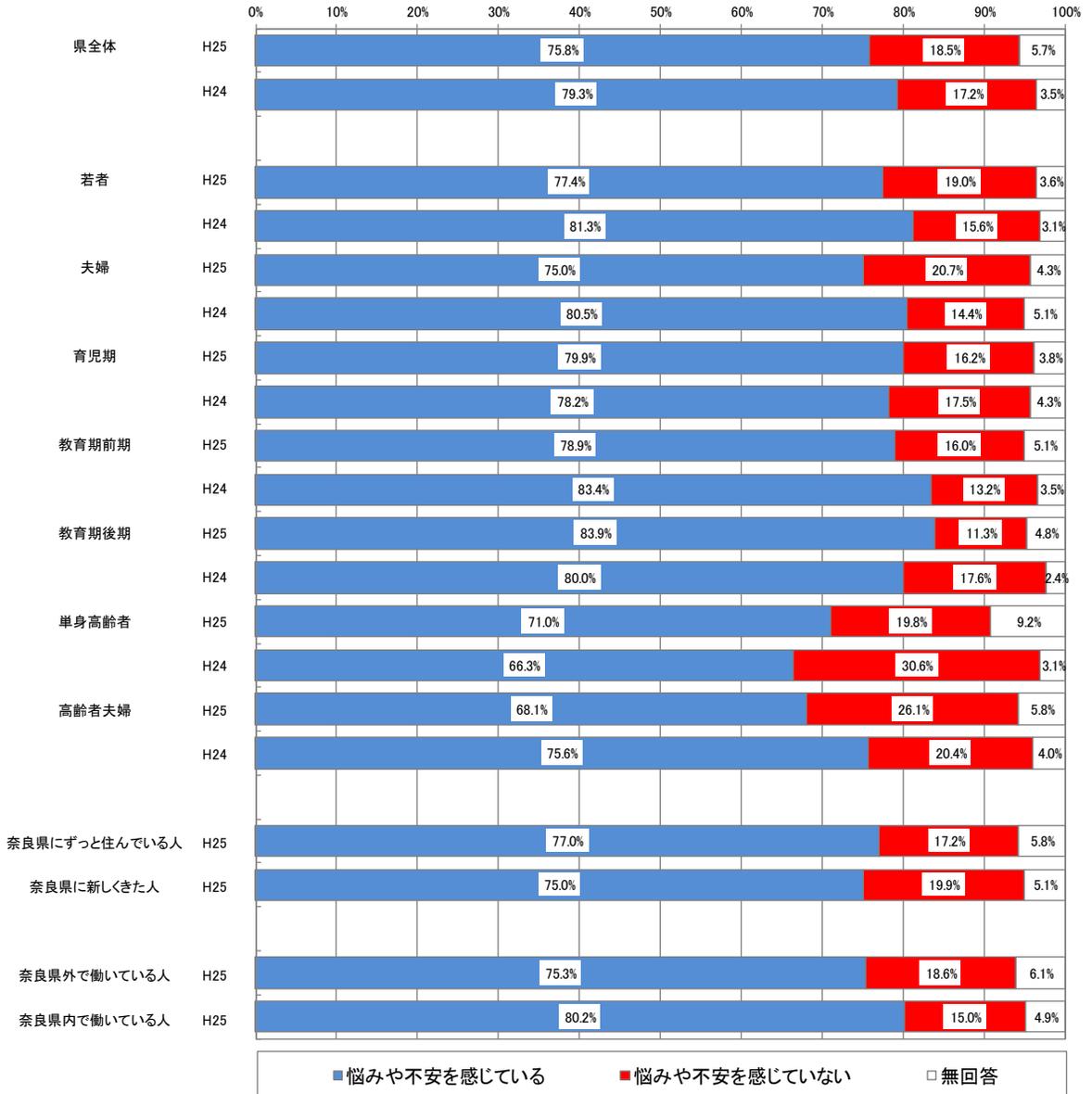
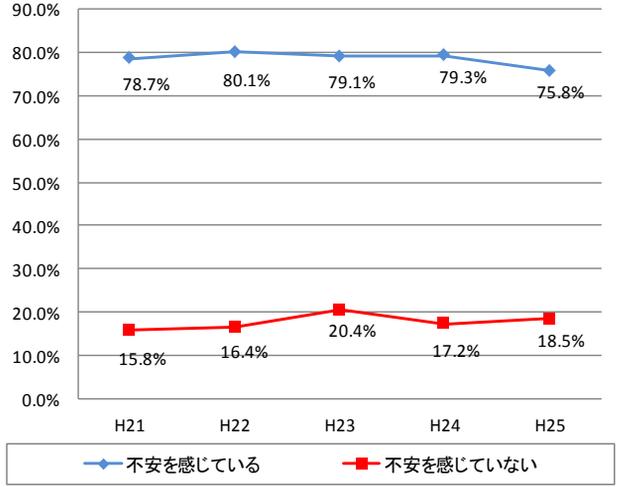
1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無

■「悩みや不安を感じている」と答えた人は平成22年度から概ね減少傾向にあります。

■ライフステージ別でみると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は、「教育期後期（83.9%）」で他の年齢層と比べ多くなっています。平成24年度と比較すると、「育児期（1.7ポイント増）」「教育期後期（3.9ポイント増）」「単身高齢者（4.7ポイント増）」において増加しています。

■旧住民・新住民別にみると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は「奈良県にずっと住んでいる人」（77.0%）が、「奈良県に新しくきた人」（75.0%）と比べ若干多くなっています。

■奈良での就労別にみると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は「奈良県内で働いている人」（80.2%）が、「奈良県外で働いている人」（75.3%）と比べ若干多くなっています。



1-5 日常生活での悩みや不安の内容

- 日頃の生活で「悩みや不安を感じている」人に対して、その理由を尋ねたところ、「老後の生活設計」（61.0%）が最も多く、次いで「自分の健康」（60.1%）、「家族の健康」（53.7%）が多く挙げられています。
- ライフステージ別にみると、「若者」「育児期」「教育期前期」では「今後の収入や資産の見通し」が最も多く挙げられている一方で、「夫婦」「教育期後期」は「老後の生活設計」、「単身高齢者」「高齢者夫婦」は「自分の健康」が多く挙げられており、ライフステージで違いがみられます。
- また、平成24年度と比較すると、それらのいずれの項目においても増加しています。
- 旧住民・新住民別にみると、「奈良県にずっと住んでいる人」では「自分の健康」（59.7%）、「奈良県に新しくきた人」では「老後の生活設計」（62.9%）が最も多く挙げられています。
- 奈良での就労別にみると、「奈良県外で働いている人」では「今後の収入や資産」（59.1%）、「奈良県内で働いている人」では「老後の生活設計」（60.3%）が最も多く挙げられています。

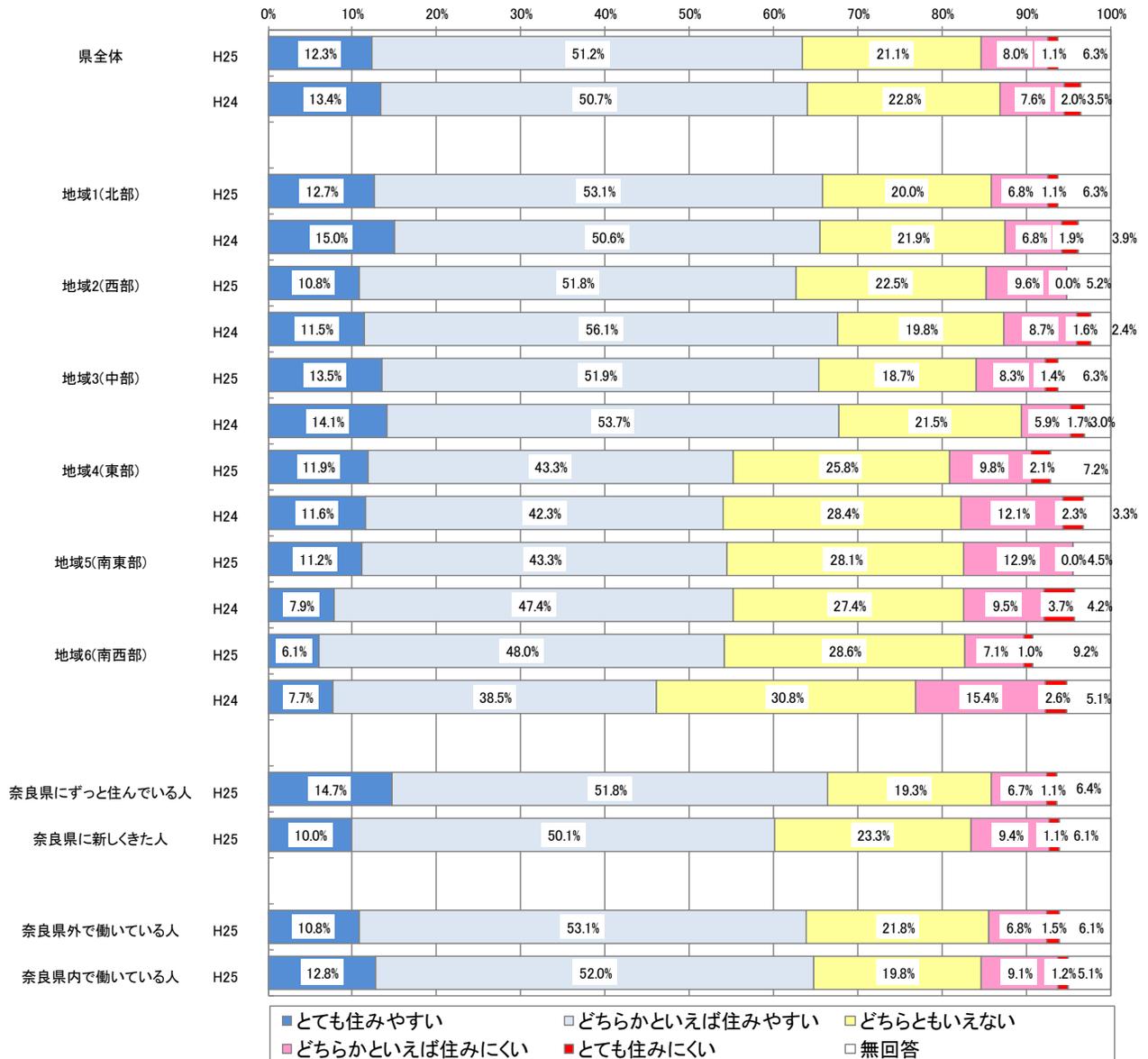
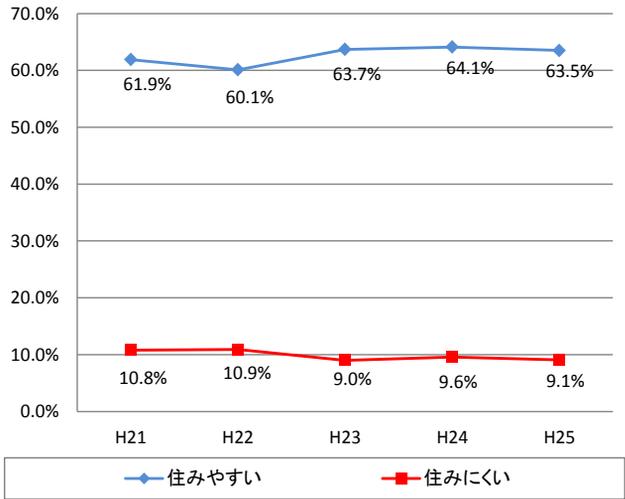
（上段：平成25年度結果、下段：前年度からの増減）

		老後の生活設計について	自分の健康について	家族の健康について	今後の収入や資産の見通しについて	現在の収入や資産について	結婚など（生活）上の問題について	家族・親族間の人間関係について	勤務先での仕事や人間関係について	結婚など（生活）上の問題について	自分の生活上（進学、就職、近隣・地域との関係について	事業や家業の経営上の問題について	その他	無回答
県全体		61.0% 6.4	60.1% 4.7	53.7% 5.9	50.2% 0.6	40.5% 4.1	24.4% ▲ 5.2	12.0% ▲ 0.8	10.5% ▲ 1.8	9.8% ▲ 1.8	8.2% ▲ 0.3	7.3% ▲ 2.4	2.7% ▲ 0.7	1.0% ▲ 0.2
ライフステージ別	若者	25.5% 8.8	34.0% 5.8	33.0% 3.5	56.6% 5.3	50.0% 11.5	15.1% 2.3	7.5% ▲ 6.6	25.5% ▲ 1.4	50.9% ▲ 15.1	9.4% 4.9	5.7% ▲ 0.7	2.8% 0.2	0.0% ▲ 0.6
	夫婦	75.8% 6.7	69.1% 11.0	65.2% 8.0	58.9% 2.1	42.5% 3.5	8.2% ▲ 8.3	13.0% 1.1	9.2% ▲ 4.4	2.9% ▲ 4.3	6.3% ▲ 1.3	7.2% ▲ 4.7	3.4% 0.9	0.5% ▲ 0.3
	育児期	42.8% ▲ 0.5	35.3% 5.4	43.3% 4.5	67.4% 2.2	54.0% 5.7	31.6% ▲ 1.7	9.6% ▲ 6.8	16.6% 1.2	8.0% 1.5	13.4% ▲ 1.0	6.4% ▲ 2.1	2.1% ▲ 0.9	1.1% ▲ 0.9
	教育期前期	55.9% 9.1	42.4% ▲ 0.8	45.3% 4.3	59.7% 1.3	46.8% 4.8	52.4% 1.5	12.9% ▲ 3.7	14.1% ▲ 3.2	7.4% 3.4	6.5% ▲ 2.0	7.9% ▲ 1.0	3.2% 0.3	1.2% 0.4
	教育期後期	66.3% 13.4	51.0% 2.5	49.0% 7.3	53.8% ▲ 1.5	48.1% 12.7	51.9% ▲ 13.1	14.4% ▲ 1.1	10.6% ▲ 5.4	1.0% ▲ 0.5	4.8% ▲ 3.5	11.5% ▲ 1.1	2.9% ▲ 0.0	2.9% 1.9
	単身高齢者	58.1% 9.6	88.2% 4.9	15.1% ▲ 6.1	23.7% ▲ 3.6	30.1% ▲ 0.2	6.5% 2.0	15.1% ▲ 0.1	4.3% 2.8	3.2% 0.2	9.7% ▲ 0.9	2.2% ▲ 3.9	6.5% 2.0	0.0% ▲ 4.5
	高齢者夫婦	69.2% 7.8	80.7% 5.8	72.5% 8.5	35.3% 2.0	33.9% 6.2	5.4% ▲ 1.5	9.8% 0.9	1.0% 0.7	0.3% ▲ 0.4	12.2% 3.9	4.7% ▲ 4.2	3.1% ▲ 1.2	0.7% ▲ 1.3
	新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	58.9% -	59.7% -	53.2% -	49.6% -	42.7% -	23.6% -	12.1% -	11.9% -	11.4% -	9.8% -	8.9% -	1.8% -
奈良県に新しくきた人		62.9% -	60.0% -	54.3% -	51.3% -	38.2% -	25.9% -	11.8% -	9.0% -	8.3% -	6.6% -	5.2% -	3.7% -	0.8% -
奈良での就労別	奈良県外で働いている人	58.8% -	45.1% -	47.1% -	59.1% -	41.9% -	24.7% -	7.5% -	20.5% -	16.9% -	4.9% -	6.8% -	3.2% -	0.6% -
	奈良県内で働いている人	60.3% -	52.3% -	49.9% -	57.1% -	45.5% -	27.8% -	11.9% -	17.1% -	10.6% -	7.3% -	11.9% -	1.5% -	0.7% -

（注）集計結果は「県全体」の平成25年度の結果が多い項目順（「その他」を除く）に並べている。太字は「その他」を除いた平成25年度の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは平成24年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。なお、「-」は前年度未調査のため数値がないことを示している。

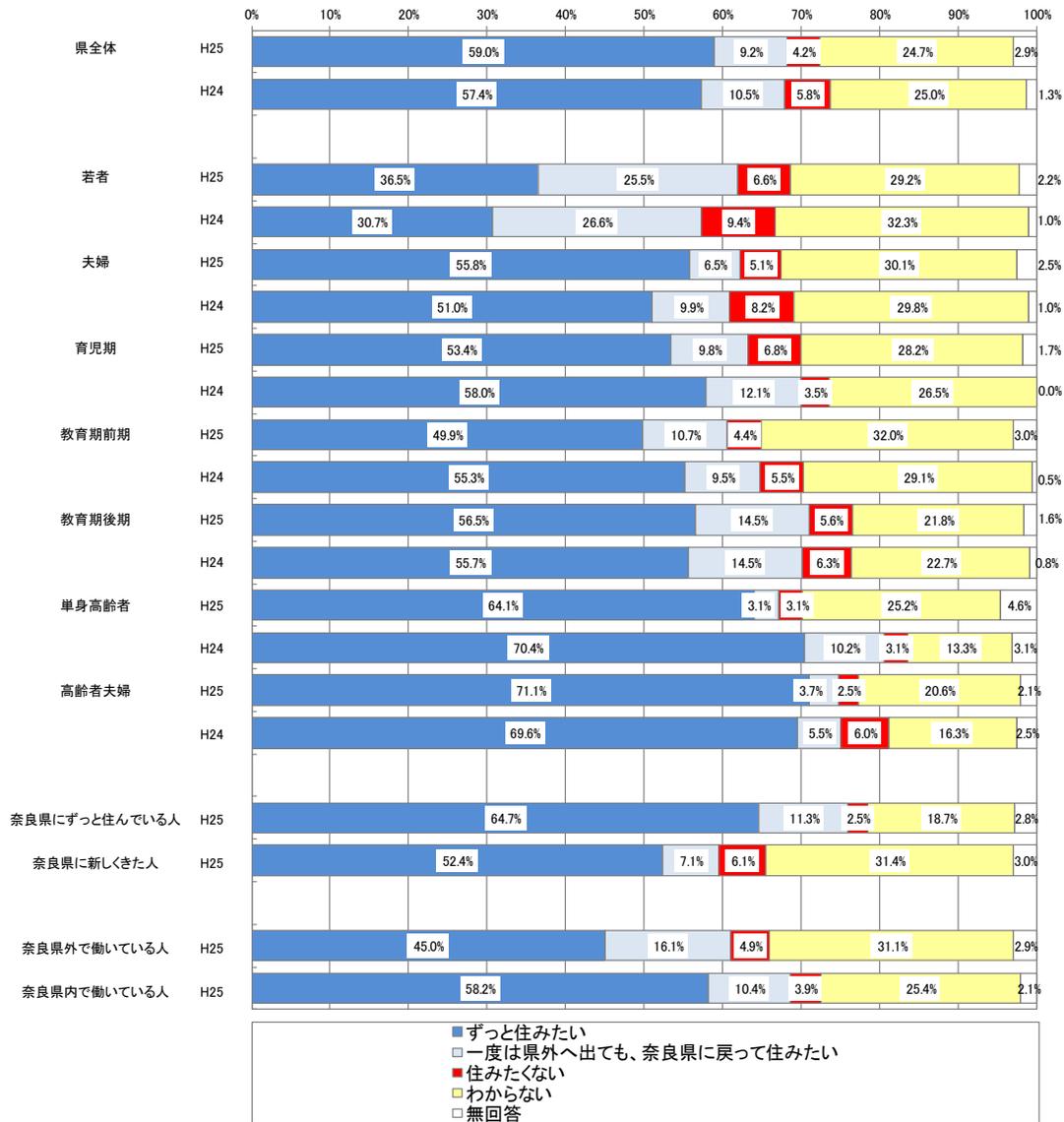
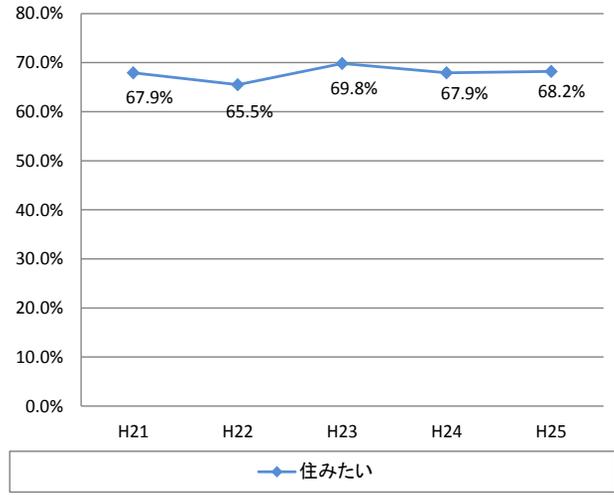
1-6 奈良県の住みやすさの評価

■「住みやすい」と感じている人は、63.5%で平成21年度と比べると概ね増加傾向にあります。
 ■地域別でみると、「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、「地域1(北部)」(65.8%)となっています。
 平成24年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は「地域1(北部)」(0.2ポイント増)、「地域4(東部)」(1.3ポイント増)、「地域6(南西部)」(7.9ポイント増)の地域で増加しています。
 ■旧住民・新住民別にみると、「住みやすい」と感じている人は、「奈良県にずっと住んでいる人」(66.5%)が「奈良県に新しくきた人」(60.1%)と比べ多くなっています。
 ■奈良での就労別にみると、「住みやすい」と感じている人は、「奈良県内で働いている人」(64.8%)が「奈良県外で働いている人」(63.9%)と比べ多くなっています。



1-7 将来の奈良県での定住意向

■奈良県に「住みたい」と考えている人は、68.2%で高い値を維持しています。
 ■ライフステージ別では「ずっと住みたい」と考えている人が最も多いのは「高齢者夫婦」（71.1%）、最も少ないのは「若者」（36.5%）になっています。一方で、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人が最も多いのは「若者」（25.5%）となっています。
 ■旧住民・新住民別にみると、奈良県に「ずっと住みたい」と考えている人は、「奈良県にずっと住んでいる人」（64.7%）が「奈良県に新しくきた人」（52.4%）と比べ多くなっています。一方で、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人では「奈良県外でずっと住んでいる人」（11.3%）が「奈良県に新しくきた人」（7.1%）と比べ多くなっています。
 ■奈良での就労別にみると、奈良県に「ずっと住みたい」と考えている人は、「奈良県内で働いている人」（58.2%）が「奈良県外で働いている人」（45.0%）と比べ多くなっています。一方で、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人では「奈良県外で働いている人」（16.1%）が「奈良県内で働いている人」（10.4%）と比べ多くなっています。



1-8 将来的に奈良県に定住したくない理由

■将来的に奈良県に「住みたくない」と「わからない」人に対して、その理由を尋ねたところ、「医療が充実していない」（40.6%）が最も多く、次いで「日常生活環境が整っていない」（38.4%）、「福祉サービスが充実していない」（32.4%）が多く挙げられています。

平成24年度と比較すると、「福祉サービスが充実していない」が5ポイント以上増加、4位から3位へ上がっています。

■ライフステージ別にみると、「若者」「教育期前期」「教育期後期」では「通勤・通学が不便だから」、「夫婦」「育児期」では「医療が充実していないから」、「単身高齢者」「高齢者夫婦」では「日常生活環境が整っていない」が多く挙げられており、ライフステージで違いがみられます。

■旧住民・新住民別にみると、「奈良県にずっと住んでいる人」では「医療が充実していないから」（42.3%）、「日常生活環境が整っていない」（41.3%）、「通勤・通学に不便だから」（40.6%）の順で多く挙げられています。一方で、「奈良県に新しくきた人」では「医療が充実していないから」（39.1%）、「日常生活環境が整っていない」（36.1%）、「福祉サービスが充実していないから」（31.0%）の順で多く挙げられています。

■奈良での就労別にみると、「奈良県外で働いている人」では「医療が充実していないから」「通勤・通学に不便だから」が38.8%で同程度で最も多く挙げられています。「奈良県内で働いている人」では「医療が充実していないから」（40.1%）が最も多く挙げられています。

（上段：平成25年度結果、下段：前年度からの増減）

		医療が充実していないから	買物など日常生活環境が整っていないから	福祉サービスが充実していないから	通勤・通学に不便だから	奈良県や身近な地域に愛着を感じないから	身近な文化やスポーツに親しめる場が少ないから	災害を防ぐための対策が不十分だから	教育環境が充実していないから	治安を守るための対策が不十分だから	家賃など住居費が高いから	騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから	緑などの自然環境がよくないから	その他	無回答
県全体		40.6%	38.4%	32.4%	32.3%	22.1%	19.7%	14.8%	12.6%	11.0%	7.2%	5.7%	2.5%	25.1%	2.7%
		0.6	0.3	6.6	1.1	1.6	▲3.1	▲2.1	▲0.9	▲0.5	▲1.3	0.4	▲0.1	4.2	▲0.9
ライフステージ別	若者	26.5%	38.8%	18.4%	42.9%	34.7%	28.6%	10.2%	10.2%	2.0%	6.1%	2.0%	0.0%	26.5%	2.0%
		0.6	▲3.2	13.5	▲6.5	17.4	11.3	0.3	5.3	▲7.9	3.6	▲0.5	▲2.5	4.3	▲1.7
	夫婦	44.3%	39.2%	35.1%	35.1%	20.6%	20.6%	18.6%	9.3%	9.3%	10.3%	4.1%	3.1%	25.8%	4.1%
		▲0.7	▲2.2	5.4	8.1	0.8	▲1.0	▲0.3	3.9	▲0.6	1.3	▲1.3	3.1	0.6	0.5
	育児期	39.0%	30.5%	28.0%	28.0%	23.2%	14.6%	3.7%	29.3%	12.2%	8.5%	2.4%	3.7%	37.8%	1.2%
		▲7.8	3.2	9.8	▲12.3	8.9	▲6.2	▲6.7	▲4.5	0.5	▲0.6	▲1.5	▲0.2	11.8	▲4.0
	教育期前期	38.9%	31.2%	24.2%	39.5%	23.6%	15.9%	8.9%	24.8%	11.5%	8.9%	5.1%	2.5%	28.7%	1.3%
		▲3.9	7.8	0.8	2.2	▲0.8	▲6.5	▲6.5	▲1.6	0.1	▲2.0	▲1.4	0.0	3.8	0.3
教育期後期	47.1%	32.4%	38.2%	50.0%	20.6%	17.6%	5.9%	14.7%	11.8%	8.8%	8.8%	0.0%	20.6%	2.9%	
	9.8	▲10.3	18.2	10.0	▲4.7	▲6.4	▲11.4	▲12.0	5.1	2.1	4.8	▲2.7	0.6	▲2.4	
単身高齢者	43.2%	54.1%	54.1%	5.4%	10.8%	32.4%	29.7%	5.4%	8.1%	8.1%	8.1%	0.0%	16.2%	5.4%	
	7.9	1.2	7.0	▲0.5	4.9	▲2.9	12.1	▲0.5	2.2	▲3.7	2.2	0.0	4.4	▲6.4	
高齢者夫婦	41.0%	50.0%	42.0%	26.0%	20.0%	28.0%	20.0%	8.0%	10.0%	5.0%	8.0%	4.0%	19.0%	2.0%	
	1.4	9.3	13.4	12.8	6.8	8.2	▲0.9	3.6	▲7.6	▲0.5	2.5	0.7	▲0.8	▲4.6	
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	42.3%	41.3%	35.5%	40.6%	17.1%	20.1%	18.1%	15.7%	11.3%	6.8%	9.2%	3.1%	19.5%	2.4%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	奈良県に新しくきた人	39.1%	36.1%	31.0%	27.4%	25.2%	19.1%	11.8%	11.2%	11.0%	7.5%	3.7%	2.0%	28.6%	3.0%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
就労別の	奈良県外で働いている人	38.8%	23.1%	27.2%	38.8%	25.9%	19.0%	11.6%	12.9%	11.6%	4.1%	4.1%	1.4%	29.9%	0.7%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	奈良県内で働いている人	40.1%	35.2%	29.6%	34.9%	21.5%	17.9%	13.0%	17.6%	11.4%	10.7%	4.9%	2.3%	26.4%	2.6%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）集計結果は「県全体」の平成25年度の結果が多い項目順（「その他」を除く）に並べている。太字は「その他」を除いた平成25年度の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは平成24年度よりも5ポイント以上増えた項目を示している。なお、「-」は前年度未調査のため数値がないことを示している。

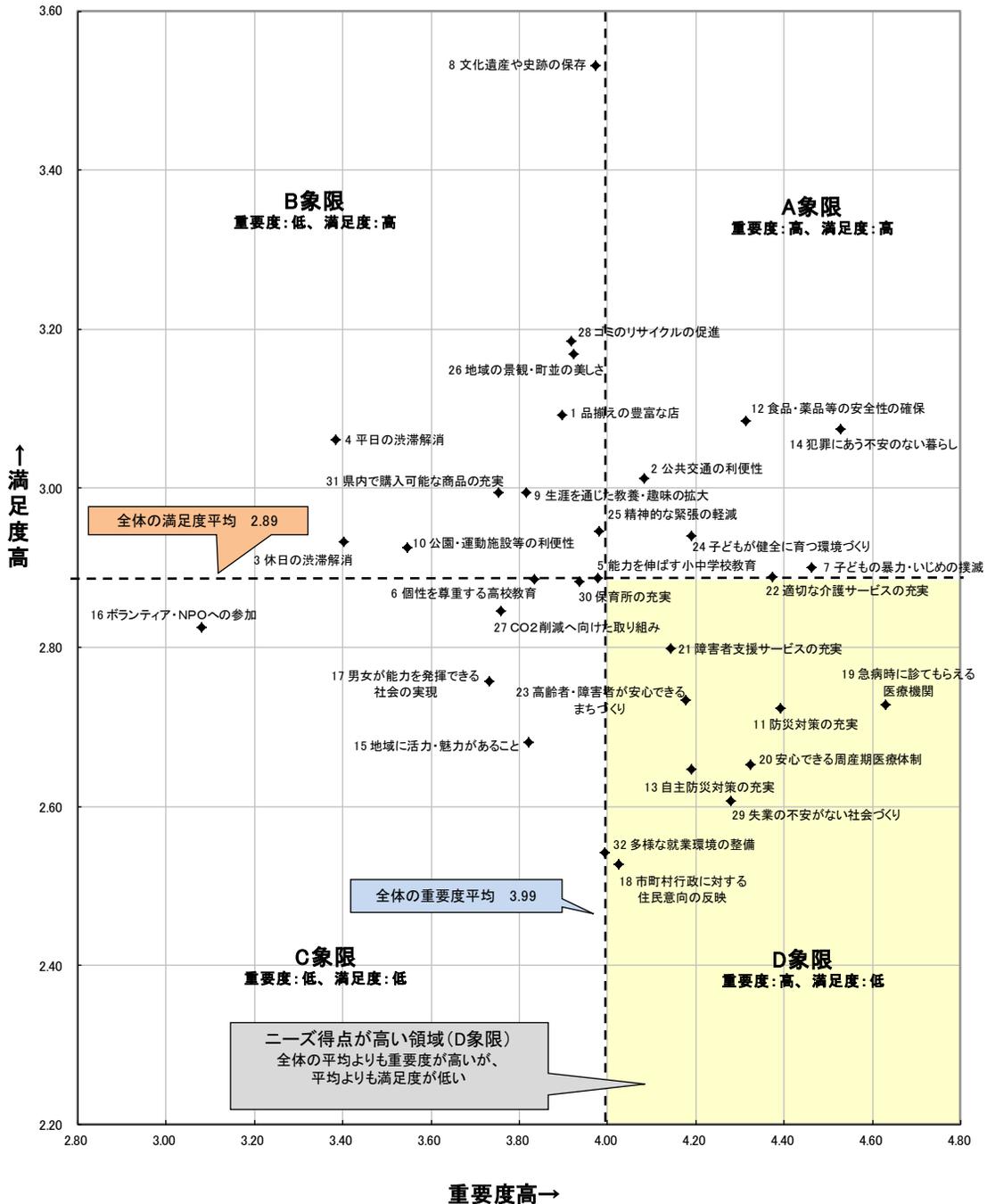
2 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について

2-1 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度の関係

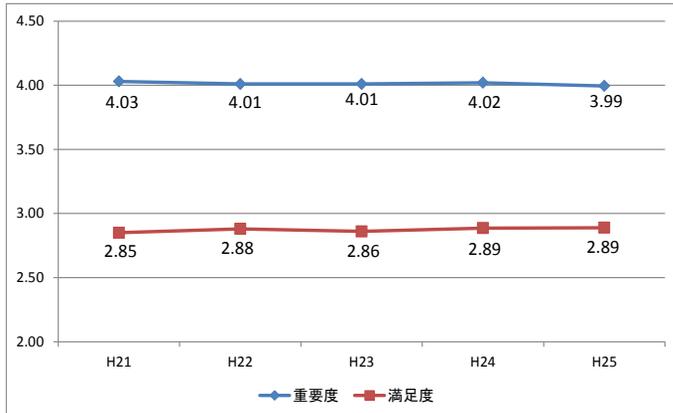
(1) 県全体

■身近な生活に関する32項目それぞれについて、重要度と満足度の関係を整理しました。また、重要度と満足度の関係から課題・ニーズの大きさの指標となる「ニーズ得点」を算出しました。

■「重要度が高く、満足度が低い」図の右下の領域に属する「急病時に診てもらえる医療機関」「失業の不安がない社会づくり」「安心できる周産期医療体制」などのニーズ得点が高くなっています。



■ 県民の身近な生活に関する32項目の重要度と満足度の平均値の推移をみると、平成21年度と比べて重要度の平均値は僅かに低下、一方で満足度の平均値は僅かに上昇しており、県民の身近な生活にかかわる状況は改善傾向にあります。



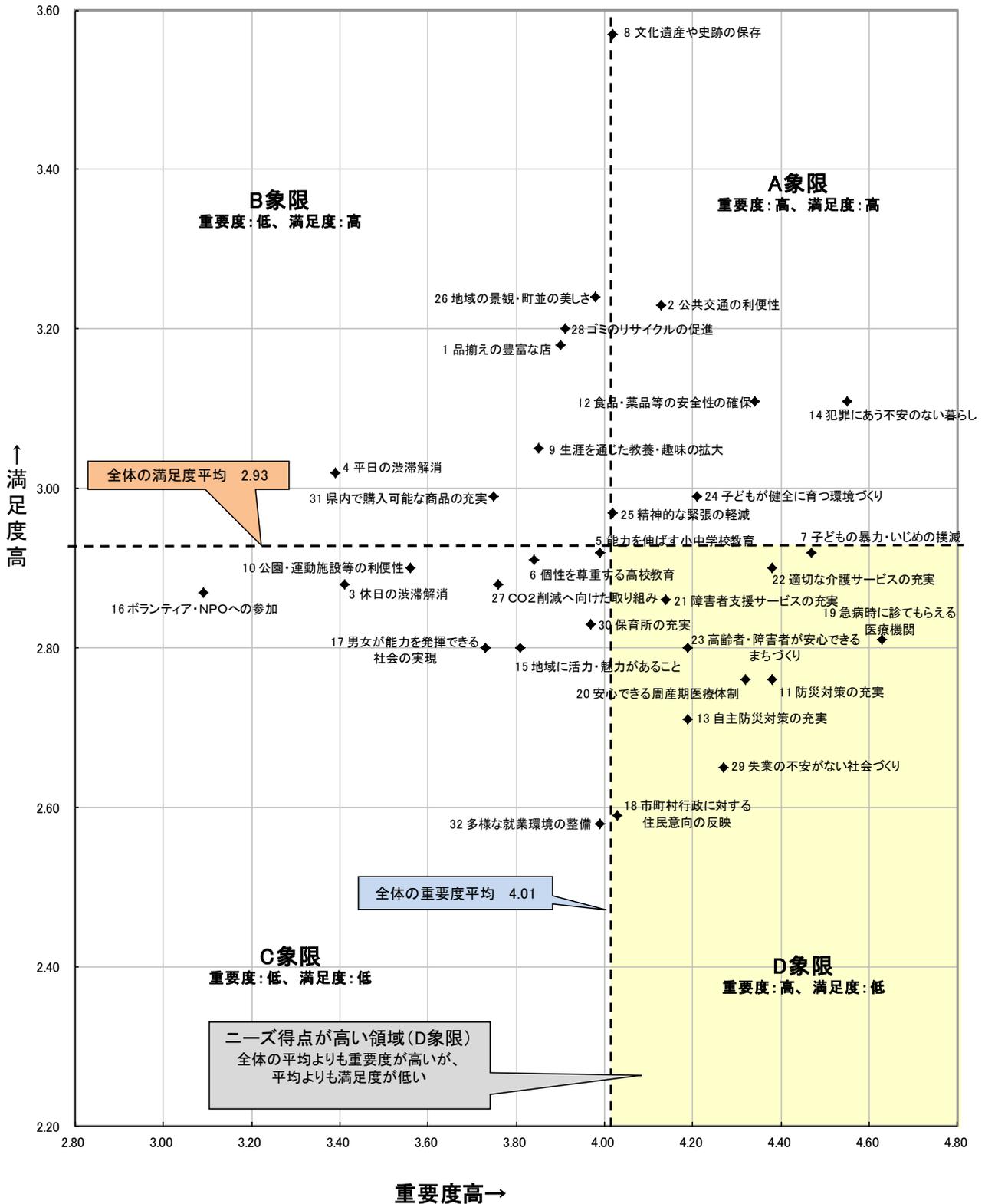
【身近な生活に関する32項目の重要度・満足度・ニーズ得点（5年間の比較）】

項目番号	項目	重要度					満足度					ニーズ得点					重要度と満足度の関係				
		H25	H24	H23	H22	H21	H25	H24	H23	H22	H21	H25	H24	H23	H22	H21	H25	H24	H23	H22	H21
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.90	3.89	3.88	3.91	3.85	3.09	3.03	3.00	3.10	3.01	11.33	11.55	11.62	11.37	11.52	B	B	B	B	B
2	電車、バス、タクシーなどの公共交通機関が利用しやすいこと	4.08	4.08	4.06	4.12	4.08	3.01	3.02	2.92	3.09	3.03	12.20	12.15	12.51	12.00	12.13	A	A	A	A	A
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.40	3.39	3.34	3.34	3.35	2.93	3.02	2.93	2.94	2.95	10.44	10.10	10.25	10.22	10.22	B	B	B	B	B
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.39	3.36	3.35	3.34	3.33	3.06	3.13	3.07	3.09	3.08	9.95	9.63	9.83	9.72	9.72	B	B	B	B	B
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.98	4.00	3.96	3.97	3.97	2.89	2.88	2.90	2.89	2.88	12.39	12.48	12.27	12.34	12.38	C	C	B	B	B
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.83	3.84	3.83	3.81	3.82	2.89	2.86	2.89	2.87	2.87	11.94	12.06	11.89	11.94	11.96	C	C	B	C	B
7	子どもたちが、暴力行い・いじめなどを行わないこと	4.46	4.44	4.43	4.41	4.45	2.90	2.90	2.94	2.90	2.89	13.83	13.73	13.56	13.69	13.85	A	A	A	A	A
8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.97	4.00	3.98	4.01	3.99	3.53	3.57	3.55	3.51	3.49	9.81	9.73	9.73	10.00	10.02	B	B	B	A	B
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.82	3.83	3.82	3.84	3.86	2.99	3.01	3.00	2.99	2.98	11.47	11.45	11.48	11.58	11.64	B	B	B	B	B
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.55	3.55	3.53	3.51	3.55	2.93	2.86	2.84	2.88	2.85	10.91	11.14	11.16	10.96	11.16	B	C	B	B	B
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.39	4.46	4.46	4.36	4.39	2.72	2.67	2.65	2.79	2.76	14.39	14.83	14.93	14.02	14.22	D	D	D	D	D
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.31	4.31	4.30	4.33	4.34	3.09	3.20	3.25	3.25	3.18	12.57	12.06	11.82	11.90	12.24	A	A	A	A	A
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.19	4.21	4.23	4.13	4.14	2.65	2.70	2.65	2.76	2.72	14.05	13.89	14.17	13.40	13.59	D	D	D	D	D
14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.53	4.57	4.53	4.51	4.56	3.08	3.05	3.05	3.03	3.02	13.25	13.49	13.34	13.39	13.60	A	A	A	A	A
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.82	3.89	3.87	3.85	3.84	2.68	2.63	2.62	2.65	2.66	12.69	13.12	13.08	12.89	12.85	C	C	C	C	C
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.08	3.08	3.09	3.10	3.10	2.83	2.82	2.78	2.80	2.74	9.78	9.81	9.95	9.76	9.81	C	C	C	C	C
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.73	3.71	3.69	3.68	3.73	2.76	2.76	2.77	2.78	2.76	12.10	12.00	11.90	11.85	12.09	C	C	C	C	C
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.03	4.06	4.08	4.07	4.13	2.53	2.53	2.45	2.52	2.45	13.98	14.10	14.48	14.16	14.66	D	D	D	D	D
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.63	4.64	4.61	4.61	4.66	2.73	2.75	2.67	2.7	2.68	15.15	15.08	15.34	15.22	15.47	D	D	D	D	D
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.32	4.37	4.38	4.40	4.46	2.65	2.61	2.54	2.51	2.43	14.47	14.82	15.13	15.38	15.93	D	D	D	D	D
21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.14	4.14	4.13	4.18	4.19	2.80	2.78	2.77	2.75	2.74	13.26	13.32	13.34	13.57	13.65	D	D	D	D	D
22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.37	4.37	4.35	4.39	4.43	2.89	2.88	2.84	2.82	2.78	13.60	13.63	13.74	13.95	14.26	D	D	D	D	D
23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.18	4.18	4.18	4.22	4.23	2.73	2.74	2.67	2.71	2.67	13.64	13.62	13.89	13.90	14.09	D	D	D	D	D
24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.19	4.24	4.20	4.23	4.25	2.94	2.95	2.92	2.92	2.93	12.82	12.94	12.95	13.03	13.05	A	A	A	A	A
25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	3.98	4.02	4.02	4.01	4.00	2.95	2.91	2.89	2.94	2.87	12.16	12.39	12.52	12.26	12.49	B	B	A	A	B
26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.92	3.93	3.95	3.94	3.96	3.17	3.18	3.13	3.16	3.14	11.11	11.09	11.35	11.18	11.34	B	B	B	B	B
27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.76	3.77	3.82	3.80	3.93	2.85	2.83	2.78	2.85	2.83	11.86	11.97	12.29	12.18	12.81	C	C	C	C	C
28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.92	3.92	3.93	3.93	4.01	3.19	3.13	3.08	3.11	3.05	11.03	11.26	11.49	11.36	11.82	B	B	B	B	B
29	失業の不安がなく働けること	4.28	4.36	4.34	4.36	4.41	2.61	2.57	2.53	2.51	2.47	14.52	14.97	15.05	15.25	15.56	D	D	D	D	D
30	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	3.94	-	-	-	-	2.88	-	-	-	-	12.27	-	-	-	-	C	-	-	-	-
31	県内で買いたいものが販売されていること	3.75	3.80	3.84	3.79	3.82	2.99	2.97	2.98	2.98	2.95	11.28	11.52	11.58	11.44	11.64	B	B	B	B	B
32	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.00	4.08	4.10	4.05	4.09	2.54	2.52	2.47	2.48	2.47	13.81	14.23	14.49	14.23	14.45	D	D	D	D	D

(注) 「重要度と満足度の関係」の各年度のA～Dの記号の対応については、前ページのA～Dの象限に対応している。網かけをした項目は満足度が32項目の平均値を下回るものであり、オレンジ色の網掛けはそのうち重要度が平均値を上回るもの、つまり重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目である。なお、「-」は前年度以前において未調査のため数値がないことを示している。

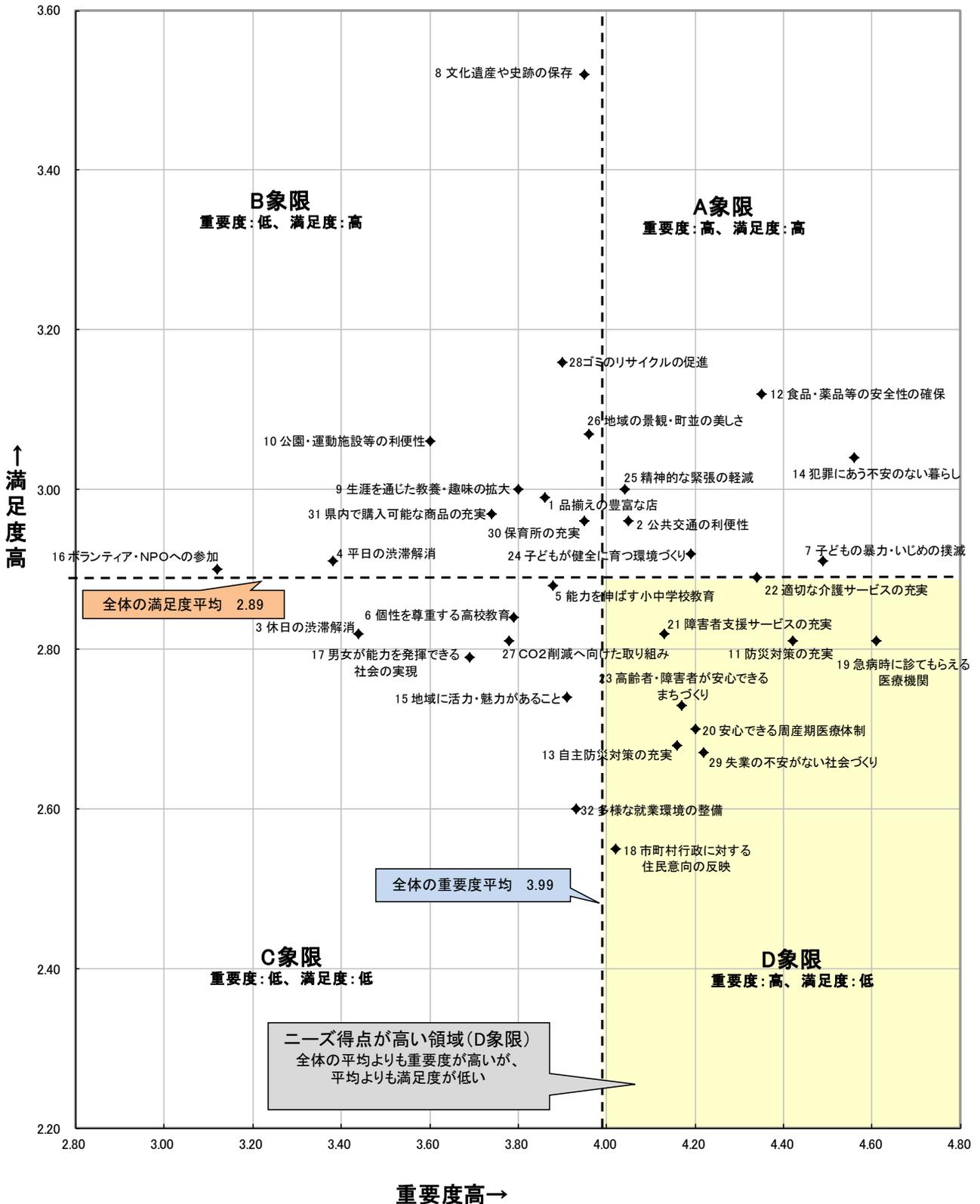
(2) 地域別_地域1 (北部)

■ 「急病時に診てもらえる医療機関」「失業の不安がない社会づくり」「防災対策の充実」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。



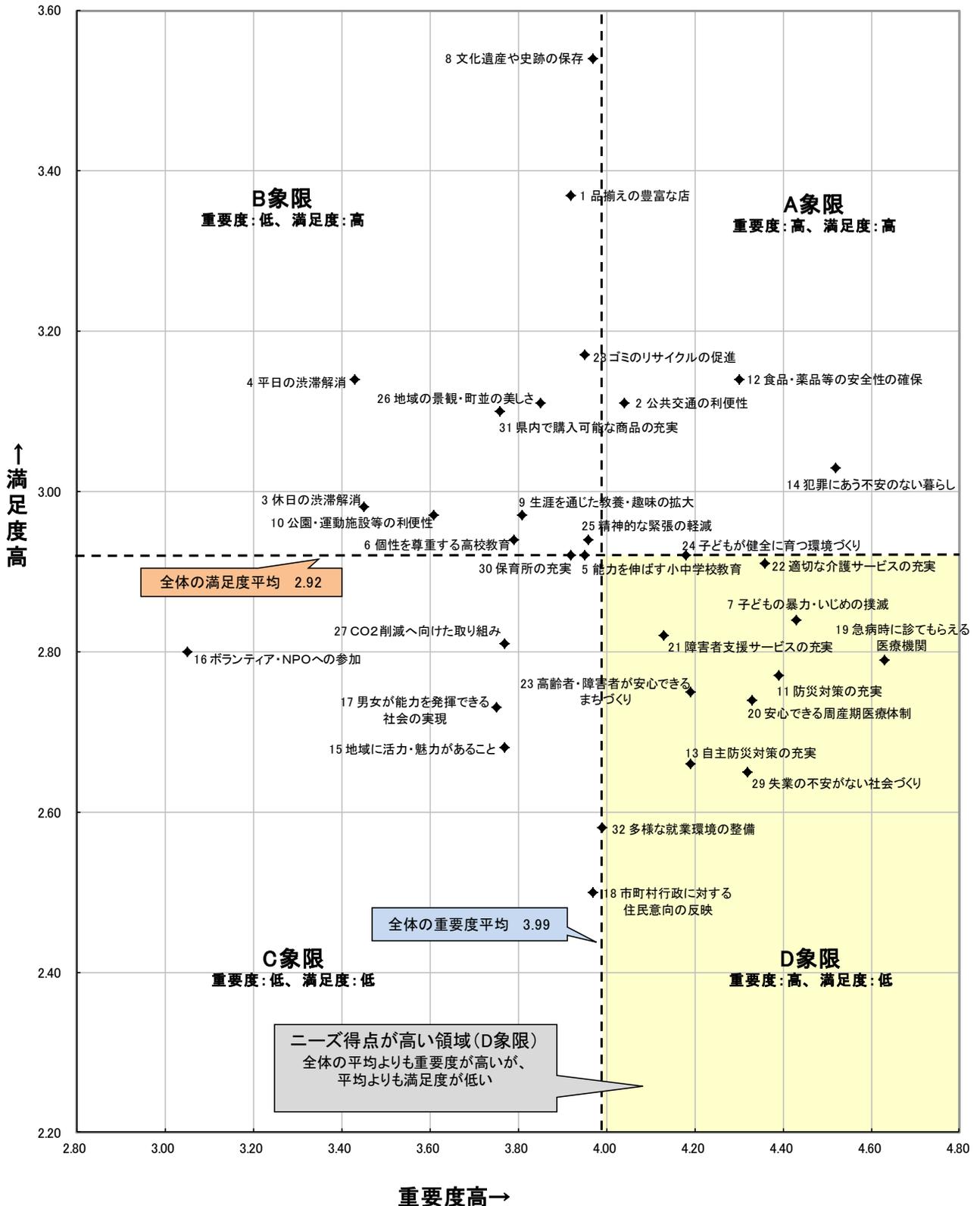
(2) 地域別_地域2 (西部)

■ 「急病時に診てもらえる医療機関」「防災対策の充実」「失業の不安がない社会づくり」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。



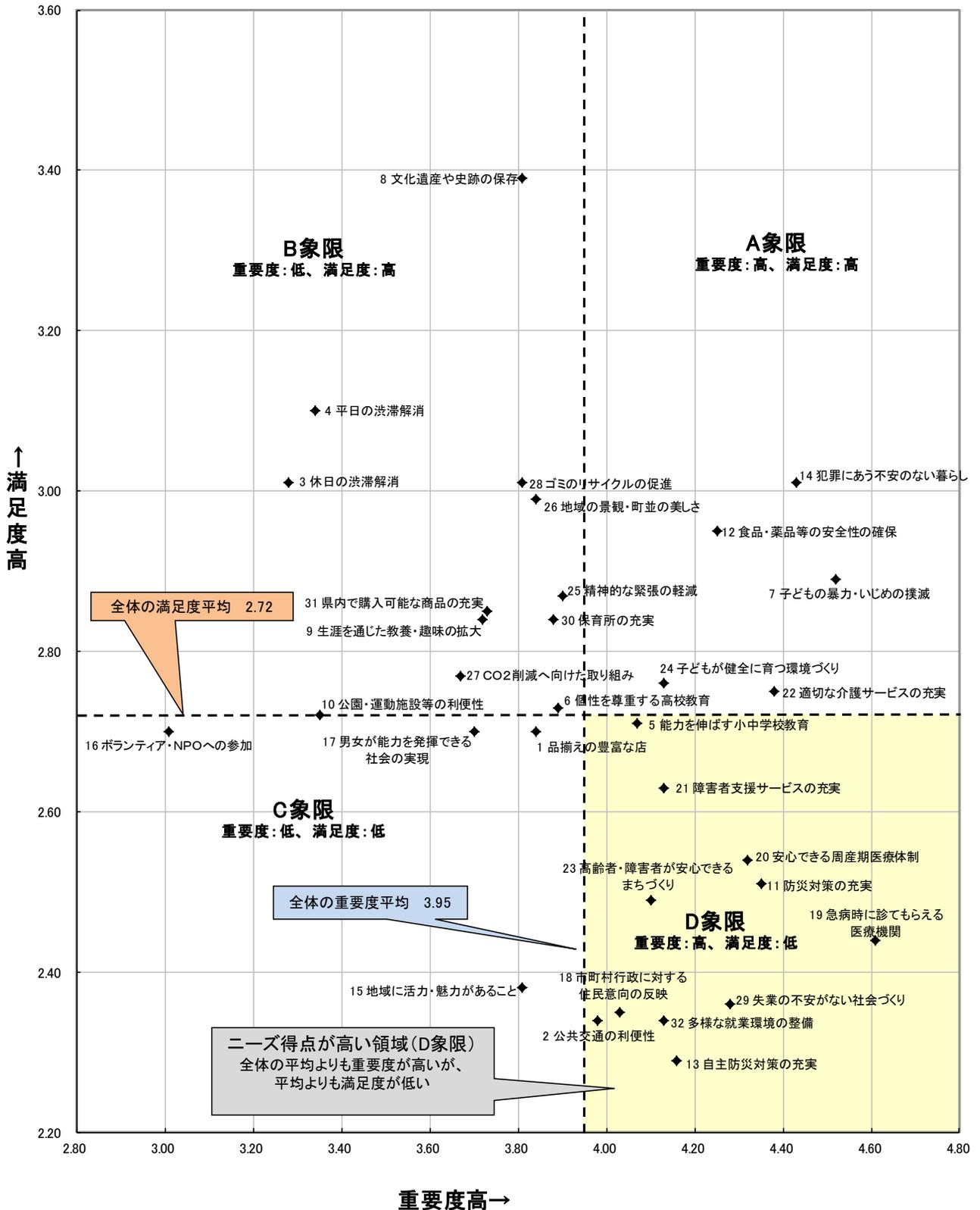
(2) 地域別_地域3 (中部)

■ 「急病時に診てもらえる医療機関」「失業の不安がない社会づくり」「防災対策の充実」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。



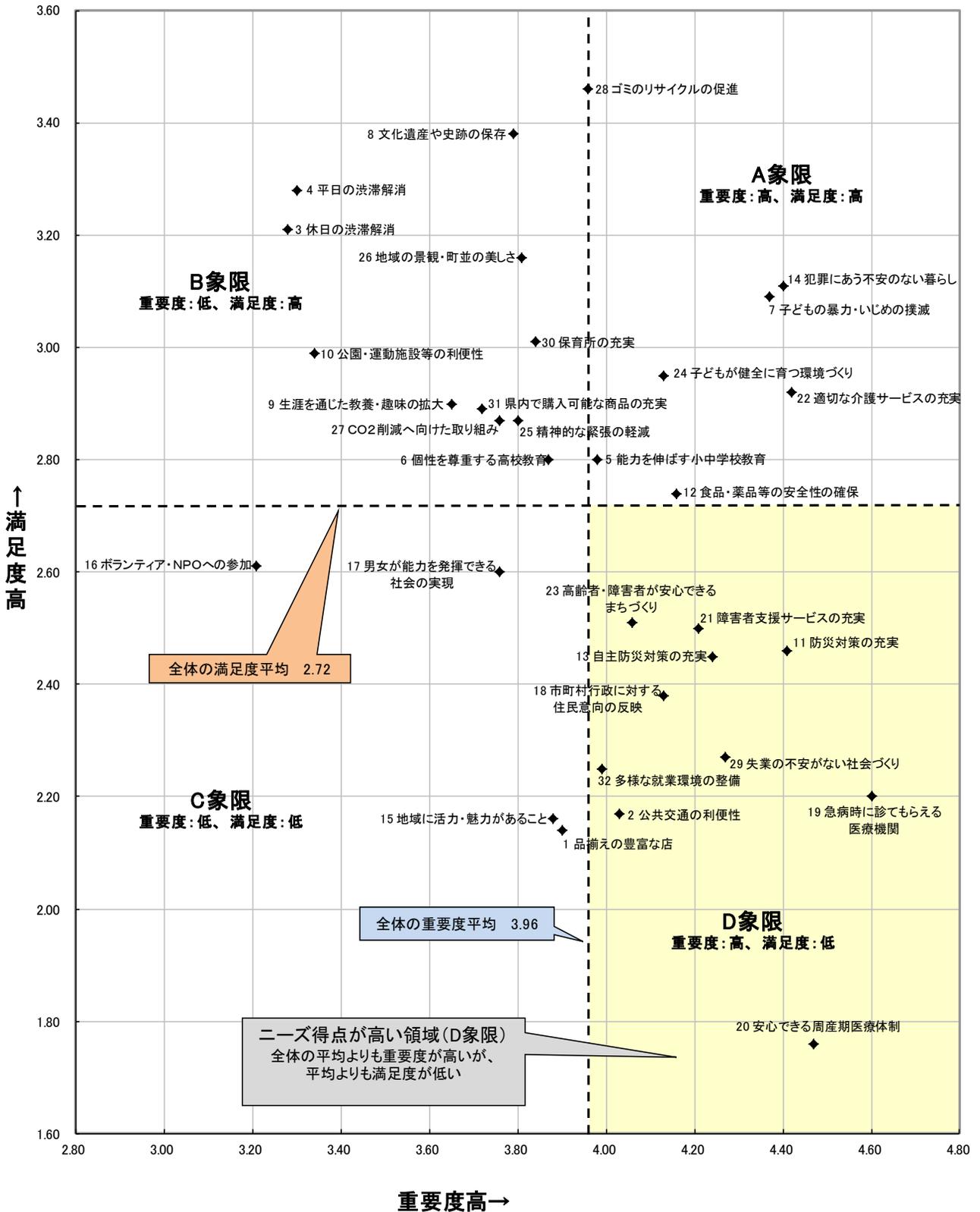
(2) 地域別_地域4 (東部)

■ 「急病時に診てもらえる医療機関」「失業の不安がない社会づくり」「自主防災対策の充実」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。



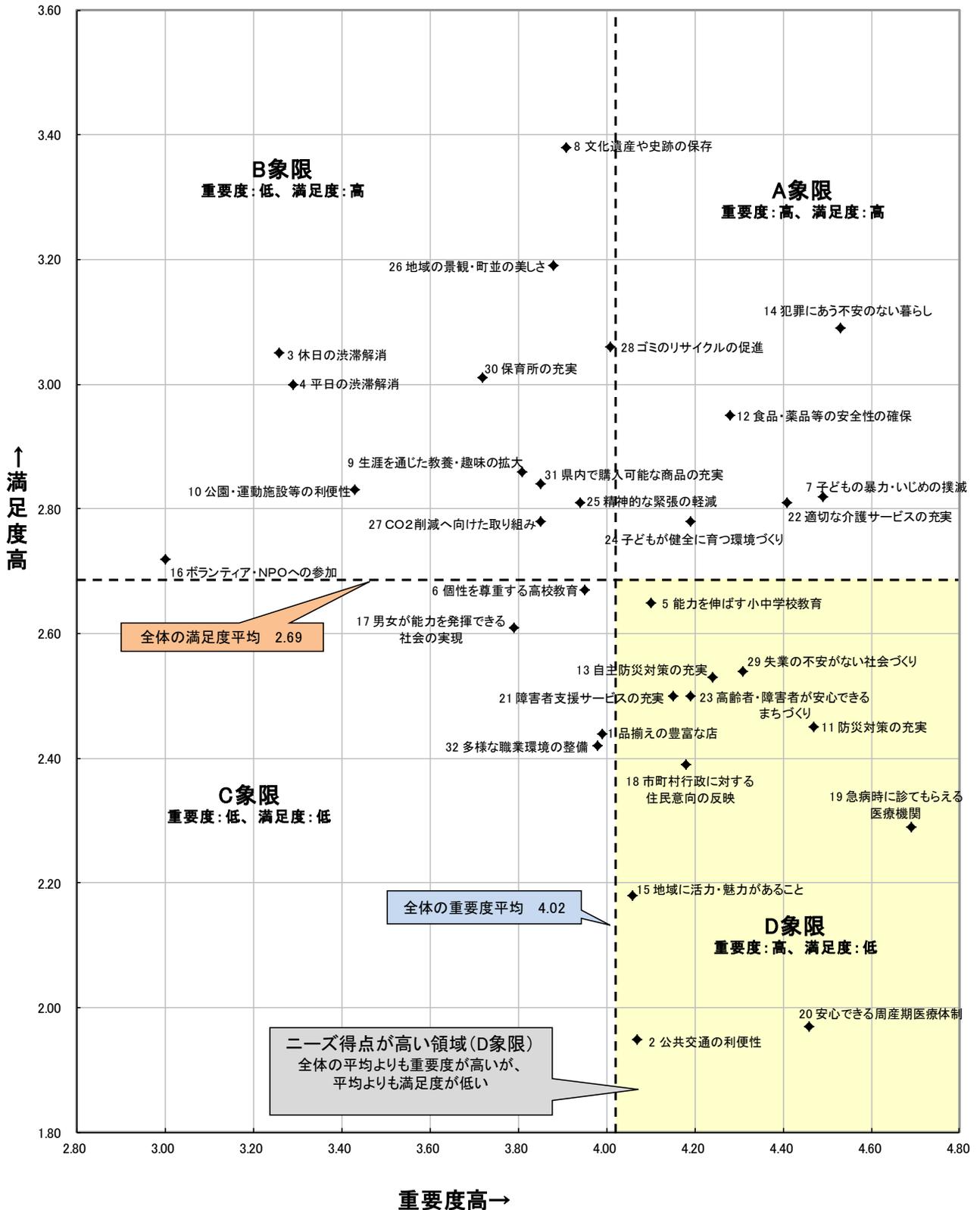
(2) 地域別_地域5 (南東部)

■ 「安心できる周産期医療体制」「急病時に診てもらえる医療機関」「失業の不安がない社会づくり」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。



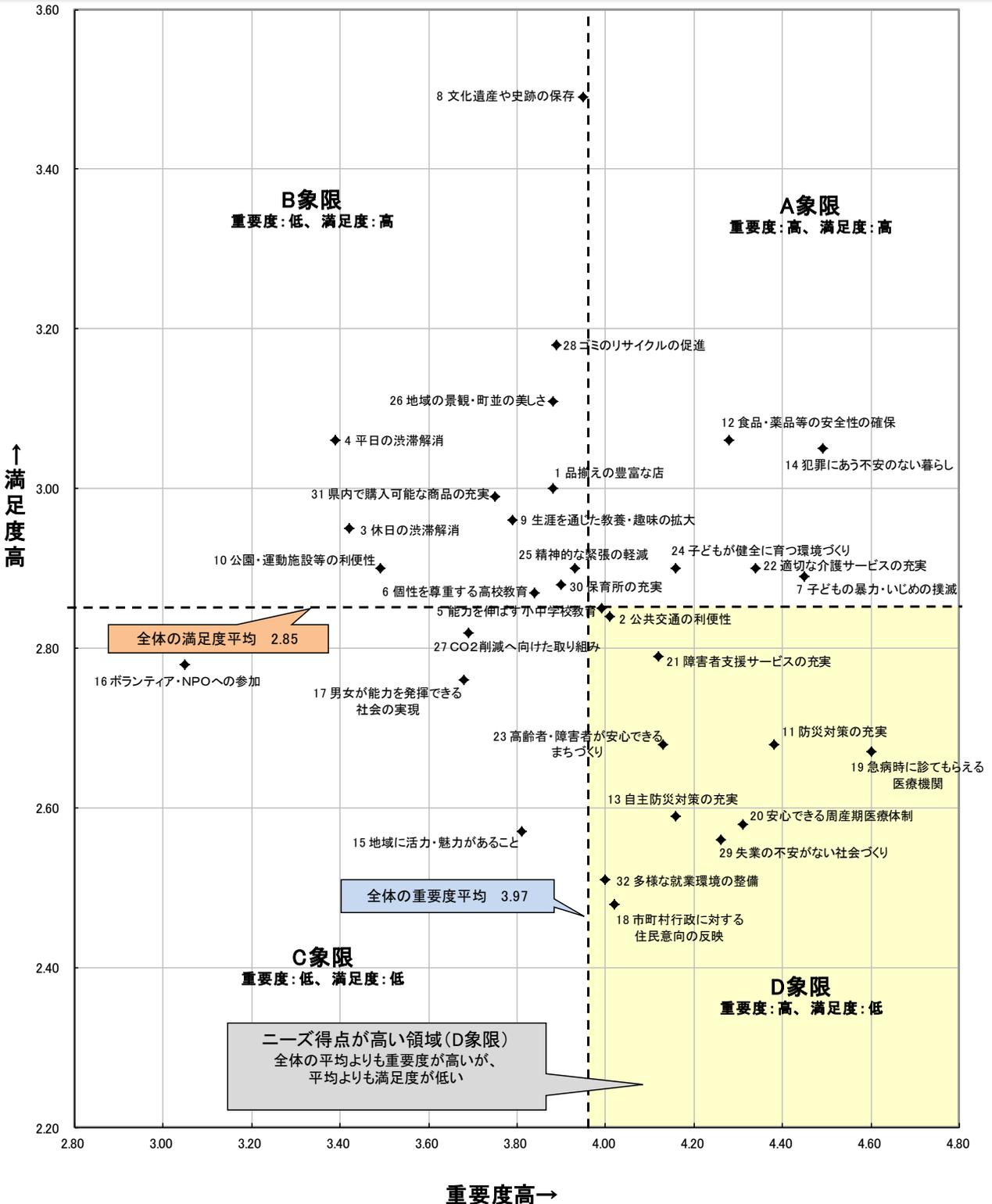
(2) 地域別_地域6 (南西部)

■ 「安心できる周産期医療体制」「急病時に診てもらえる医療機関」「公共交通の利便性」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。



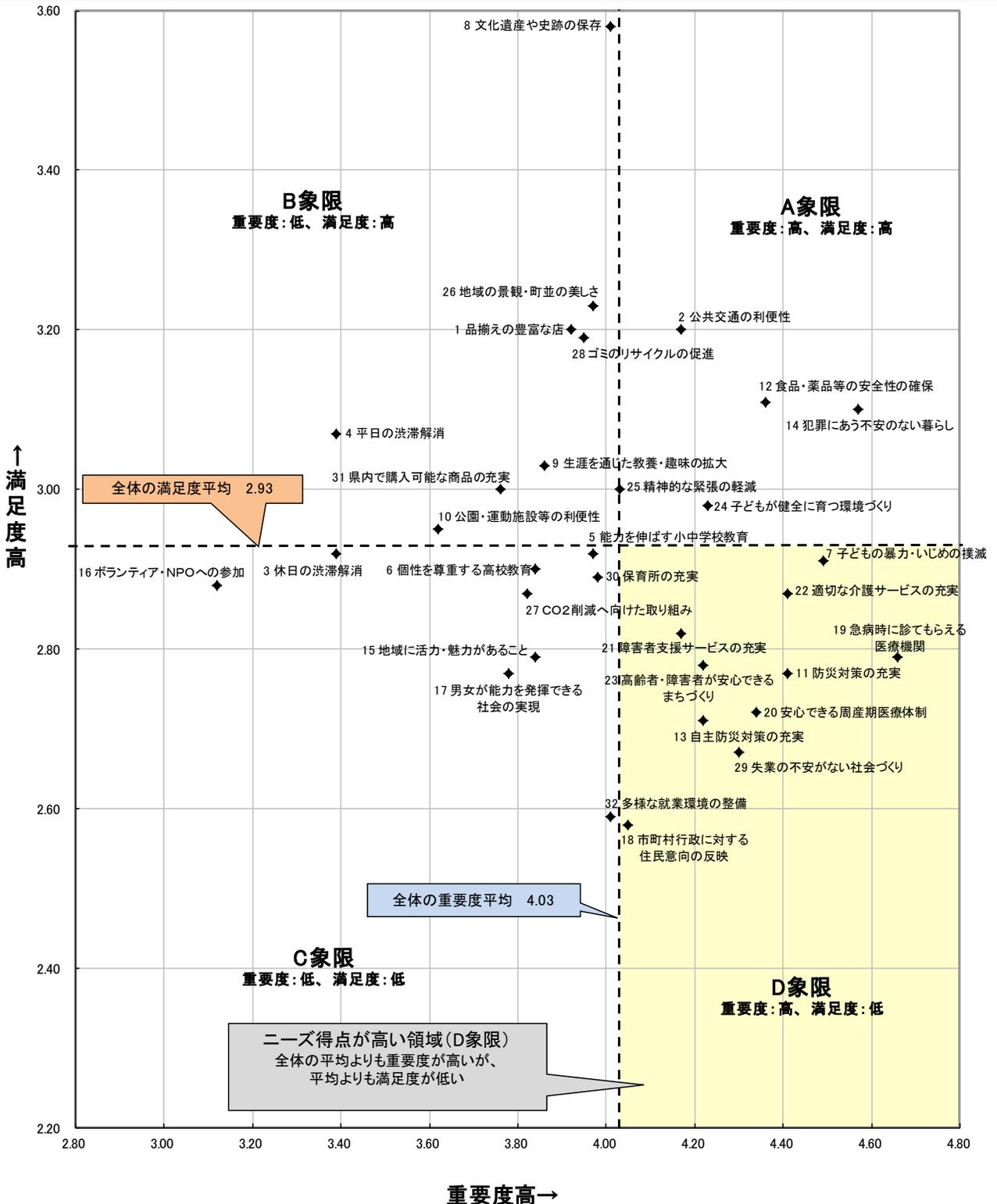
(3) 旧住民・新住民別_奈良県にずっと住んでいる人

■「奈良県にずっと住んでいる人」においては、「急病時に診てもらえる医療機関」「失業の不安がない社会づくり」「安心できる周産期医療体制」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。



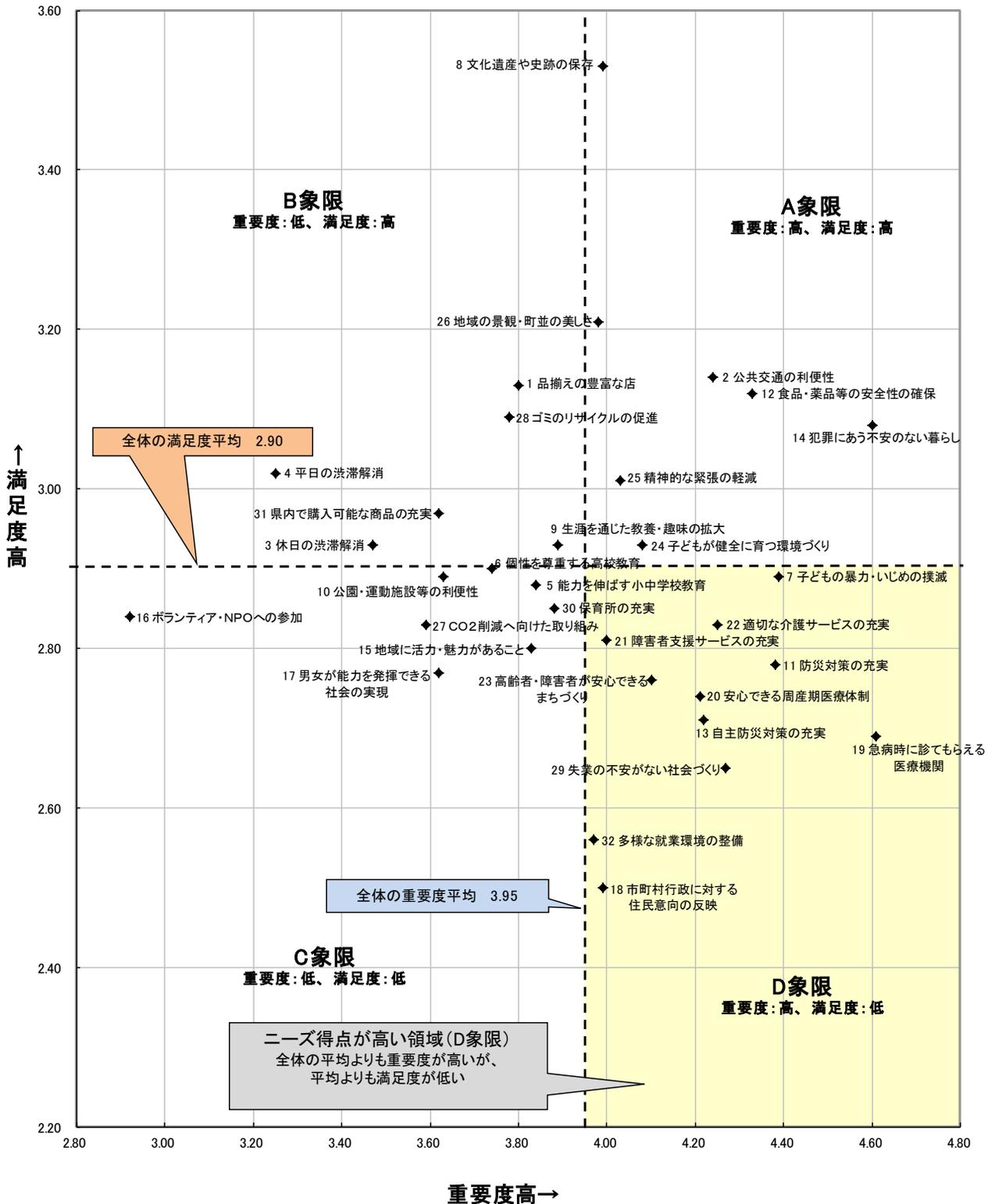
(3) 旧住民・新住民別_奈良県に新しくきた人

■「奈良県に新しくきた人」においては、「急病時に診てもらえる医療機関」「失業の不安がない社会づくり」「防災対策の充実」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。



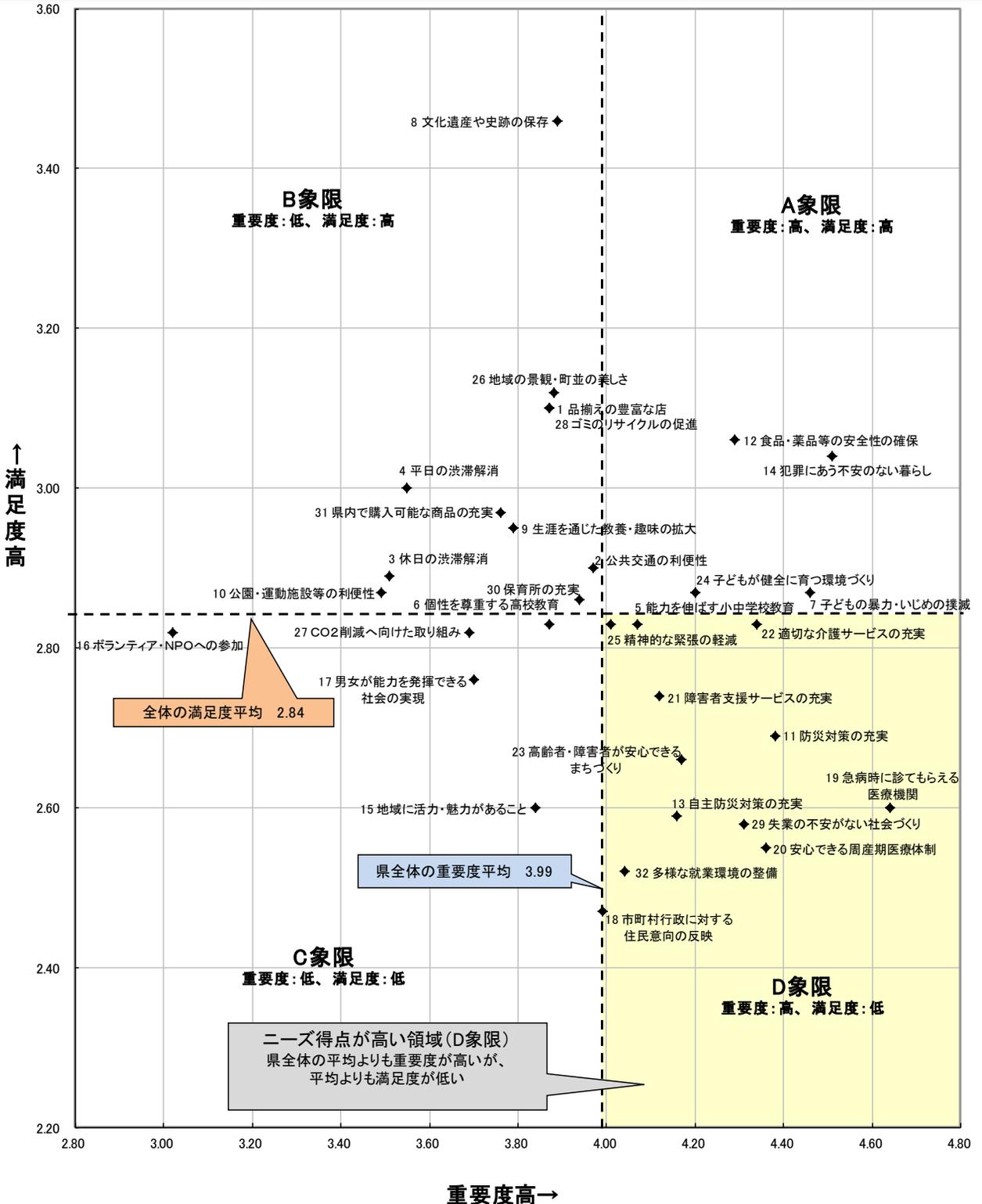
(4) 奈良での就労別_奈良県外で働いている人

■ 「奈良県外で働いている人」においては、「急病時に診てもらえる医療機関」「失業の不安がない社会づくり」「防災対策の充実」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。



(4) 奈良での就労別_奈良県内で働いている人

■「奈良県外で働いている人」においては、「急病時に診てもらえる医療機関」「安心できる周産期医療体制」「失業の不安がない社会づくり」などで重要度が高く、満足度が低くなっています。



2-2 地域別の重要度と満足度の比較

(1) 県全体及び地域別の重要度上位5項目の傾向

■重要度上位5項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	適切な介護サービスの充実
	4.63	4.53	4.46	4.39	4.37
地域1 (北部)	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	適切な介護サービスの充実
	4.63	4.55	4.47	4.38	4.38
地域2 (西部)	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	4.61	4.56	4.49	4.42	4.35
地域3 (中部)	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	4.63	4.52	4.43	4.39	4.36
地域4 (東部)	急病時に診てもらえる医療機関	子どもの暴力・いじめの撲滅	犯罪にあう不安のない暮らし	安心できる周産期医療体制	防災対策の充実
	4.61	4.52	4.43	4.38	4.35
地域5 (南東部)	急病時に診てもらえる医療機関	適切な介護サービスの充実	防災対策の充実	安心できる周産期医療体制	子どもの暴力・いじめの撲滅
	4.60	4.47	4.42	4.41	4.40
地域6 (南西部)	急病時に診てもらえる医療機関	適切な介護サービスの充実	防災対策の充実	安心できる周産期医療体制	犯罪にあう不安のない暮らし
	4.69	4.53	4.49	4.47	4.46

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。

(2) 県全体及び地域別の満足度上位5項目の傾向

■満足度上位5項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「平日の渋滞解消」「休日の渋滞解消」「公共交通の利便性」「公園・運動施設等の利便性」「犯罪にあう不安のない暮らし」となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	品揃えの豊富な店	食品・薬品等の安全性の確保
	3.53	3.19	3.17	3.09	3.09
地域1 (北部)	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	公共交通の利便性	ゴミのリサイクルの促進	品揃えの豊富な店
	3.57	3.24	3.23	3.20	3.18
地域2 (西部)	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	食品・薬品等の安全性の確保	地域の景観・町並の美しさ	公園・運動施設等の利便性
	3.52	3.16	3.12	3.07	3.06
地域3 (中部)	文化遺産や史跡の保存	品揃えの豊富な店	ゴミのリサイクルの促進	食品・薬品等の安全性の確保	平日の渋滞解消
	3.54	3.37	3.17	3.14	3.14
地域4 (東部)	文化遺産や史跡の保存	平日の渋滞解消	ゴミのリサイクルの促進	犯罪にあう不安のない暮らし	休日の渋滞解消
	3.39	3.10	3.01	3.01	3.01
地域5 (南東部)	ゴミのリサイクルの促進	文化遺産や史跡の保存	平日の渋滞解消	休日の渋滞解消	地域の景観・町並の美しさ
	3.46	3.38	3.28	3.21	3.16
地域6 (南西部)	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	犯罪にあう不安のない暮らし	ゴミのリサイクルの促進	休日の渋滞解消
	3.38	3.19	3.09	3.06	3.05

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮している。

(3) 県全体及び地域別の満足度下位5項目の傾向

■満足度下位5項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「地域に活力・魅力があること」「公共交通の利便性」「品揃えの豊富な店」「急病時に診てもらえる医療機関」となっています。

	第32位	第31位	第30位	第29位	第28位
県全体	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	2.53	2.54	2.61	2.65	2.65
地域1 (北部)	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	2.58	2.59	2.65	2.71	2.76
地域2 (西部)	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	2.55	2.60	2.67	2.68	2.70
地域3 (中部)	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	地域に活力・魅力があること
	2.50	2.58	2.65	2.66	2.68
地域4 (東部)	自主防災対策の充実	多様な就業環境の整備	公共交通の利便性	市町村行政に対する住民意向の反映	失業の不安がない社会づくり
	2.29	2.34	2.34	2.35	2.36
地域5 (南東部)	安心できる周産期医療体制	品揃えの豊富な店	地域に活力・魅力があること	公共交通の利便性	急病時に診てもらえる医療機関
	1.76	2.14	2.16	2.17	2.20
地域6 (南西部)	公共交通の利便性	安心できる周産期医療体制	地域に活力・魅力があること	急病時に診てもらえる医療機関	市町村行政に対する住民意向の反映
	1.95	1.97	2.18	2.29	2.39

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮している。

2-3 ライフステージ別の重要度と満足度の比較

(1) 県全体及びライフステージ別の重要度上位5項目の傾向

■重要度上位5項目で、ライフステージ別にはあるが「県全体」にはない項目は、「安心できる周産期医療体制」「失業の不安がない社会づくり」「食品・薬品等の安全性の確保」「子どもが健全に育つ環境づくり」となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	適切な介護サービスの充実
	4.63	4.53	4.46	4.39	4.37
若者	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	安心できる周産期医療体制	失業の不安がない社会づくり
	4.61	4.60	4.47	4.44	4.38
夫婦	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	防災対策の充実	適切な介護サービスの充実	食品・薬品等の安全性の確保
	4.67	4.57	4.47	4.45	4.34
育児期	急病時に診てもらえる医療機関	子どもの暴力・いじめの撲滅	犯罪にあう不安のない暮らし	安心できる周産期医療体制	子どもが健全に育つ環境づくり
	4.77	4.77	4.64	4.58	4.48
教育期前期	子どもの暴力・いじめの撲滅	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	防災対策の充実	失業の不安がない社会づくり
	4.66	4.63	4.59	4.40	4.37
教育期後期	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	食品・薬品等の安全性の確保
	4.64	4.61	4.46	4.45	4.43
単身高齢者	急病時に診てもらえる医療機関	適切な介護サービスの充実	子どもの暴力・いじめの撲滅	犯罪にあう不安のない暮らし	安心できる周産期医療体制
	4.58	4.51	4.47	4.41	4.35
高齢者夫婦	急病時に診てもらえる医療機関	適切な介護サービスの充実	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実
	4.57	4.42	4.42	4.41	4.30

(注) 網かけは、ライフステージ別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮している。

(2) 県全体及びライフステージ別の満足度上位5項目の傾向

■満足度上位5項目で、ライフステージ別にはあるが「県全体」にはない項目は、「平日の渋滞解消」「公共交通の利便性」「急病時に診てもらえる医療機関」「生涯を通じた教養・趣味の拡大」「犯罪にあう不安のない暮らし」となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	品揃えの豊富な店	食品・薬品等の安全性の確保
	3.53	3.19	3.17	3.09	3.09
若者	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	食品・薬品等の安全性の確保	犯罪にあう不安のない暮らし	平日の渋滞解消
	3.41	3.22	3.14	3.12	3.12
夫婦	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	ゴミのリサイクルの促進	平日の渋滞解消	品揃えの豊富な店
	3.39	3.14	3.12	3.10	3.05
育児期	文化遺産や史跡の保存	品揃えの豊富な店	地域の景観・町並の美しさ	公共交通の利便性	ゴミのリサイクルの促進
	3.51	3.21	3.13	3.11	3.09
教育期前期	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	品揃えの豊富な店	食品・薬品等の安全性の確保	ゴミのリサイクルの促進
	3.59	3.20	3.13	3.11	3.06
教育期後期	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	品揃えの豊富な店	平日の渋滞解消	地域の景観・町並の美しさ
	3.64	3.21	3.17	3.16	3.09
単身高齢者	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし
	3.67	3.31	3.27	3.18	3.16
高齢者夫婦	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	生涯を通じた教養・趣味の拡大	犯罪にあう不安のない暮らし
	3.58	3.45	3.30	3.23	3.22

(注) 網かけライフステージ別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。

(3) 県全体及びライフステージ別の満足度下位5項目の傾向

■満足度下位5項目で、ライフステージ別にはあるが「県全体」にはない項目は、「地域に活力・魅力があること」「急病時に診てもらえる医療機関」「防災対策の充実」となっています。

	第32位	第31位	第30位	第29位	第28位
県全体	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	2.53	2.54	2.61	2.65	2.65
若者	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	地域に活力・魅力があること
	2.35	2.42	2.48	2.52	2.54
夫婦	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	地域に活力・魅力があること	自主防災対策の充実
	2.40	2.52	2.54	2.58	2.60
育児期	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	自主防災対策の充実	急病時に診てもらえる医療機関	失業の不安がない社会づくり
	2.52	2.52	2.67	2.67	2.68
教育期前期	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	安心できる周産期医療体制	急病時に診てもらえる医療機関	失業の不安がない社会づくり
	2.46	2.52	2.58	2.60	2.63
教育期後期	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	失業の不安がない社会づくり	安心できる周産期医療体制	自主防災対策の充実
	2.44	2.56	2.56	2.58	2.61
単身高齢者	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	失業の不安がない社会づくり	防災対策の充実	自主防災対策の充実
	2.56	2.56	2.57	2.67	2.69
高齢者夫婦	多様な就業環境の整備	市町村行政に対する住民意向の反映	自主防災対策の充実	地域に活力・魅力があること	安心できる周産期医療体制
	2.62	2.64	2.75	2.75	2.76

(注) 網かけは、ライフステージ別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。

2-4 旧住民・新住民別の重要度と満足度の比較

(1) 県全体及び旧住民・新住民別の重要度上位5項目の傾向

■重要度上位5項目で、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」にはない項目は、1項目もない結果となっております。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	適切な介護サービスの充実
	4.63	4.53	4.46	4.39	4.37
奈良県にずっと住んでいる人	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	適切な介護サービスの充実
	4.60	4.49	4.45	4.38	4.34
奈良県に新しくきた人	急病時に診てもらえる医療機関	犯罪にあう不安のない暮らし	子どもの暴力・いじめの撲滅	防災対策の充実	適切な介護サービスの充実
	4.66	4.57	4.49	4.41	4.41

(注) 網かけは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の設定には小数第3位以下も考慮している。

(2) 県全体及び旧住民・新住民別の満足度上位5項目の傾向

■満足度上位5項目で、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」にはない項目は、「平日の渋滞解消」「公共交通の利便性」となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	品揃えの豊富な店	食品・薬品等の安全性の確保
	3.53	3.18	3.17	3.09	3.09
奈良県にずっと住んでいる人	文化遺産や史跡の保存	ゴミのリサイクルの促進	地域の景観・町並の美しさ	食品・薬品等の安全性の確保	平日の渋滞解消
	3.49	3.18	3.11	3.06	3.06
奈良県に新しくきた人	文化遺産や史跡の保存	地域の景観・町並の美しさ	品揃えの豊富な店	公共交通の利便性	ゴミのリサイクルの促進
	3.58	3.23	3.20	3.20	3.19

(注) 網かけは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の設定には小数第3位以下も考慮している。

(3) 県全体及び旧住民・新住民別の満足度下位5項目の傾向

■満足度下位5項目で、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」にはない項目は、「地域に活力・魅力があること」となっています。

	第32位	第31位	第30位	第29位	第28位
県全体	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	2.53	2.54	2.61	2.65	2.65
奈良県にずっと住んでいる人	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	地域に活力・魅力があること	安心できる周産期医療体制
	2.48	2.51	2.56	2.57	2.58
奈良県に新しくきた人	市町村行政に対する住民意向の反映	多様な就業環境の整備	失業の不安がない社会づくり	自主防災対策の充実	安心できる周産期医療体制
	2.58	2.59	2.67	2.71	2.72

(注) 網かけは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。点数表記は小数第2位までだが、順位の設定には小数第3位以下も考慮している。

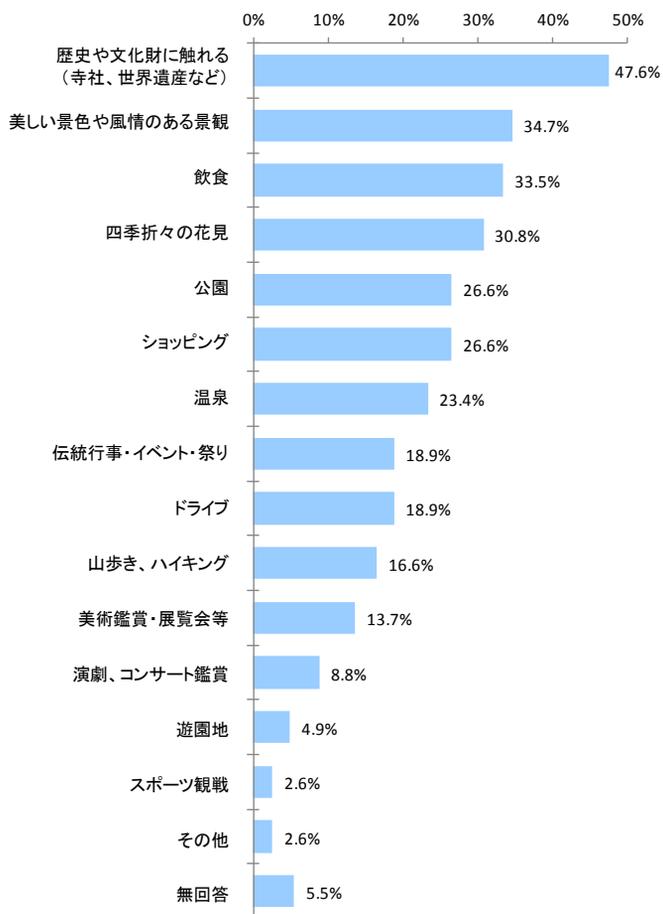
3 県民の生活に関する意識やニーズについて

3-1 観光振興について

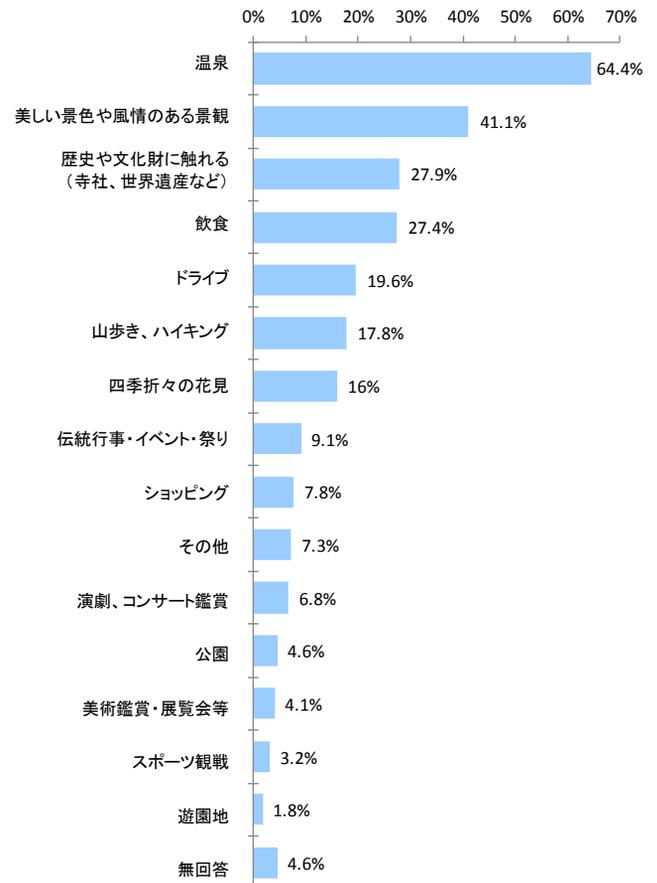
(1) 日帰り旅行の目的／宿泊旅行の目的

- この1年間の県内での観光・レジャー・レクリエーションの目的については、「歴史や文化財に触れる」（47.6%）が最も多く、次いで「美しい景色や風情のある景観」（34.7%）、「飲食」（33.5%）となっています。
- この1年間の県内での宿泊旅行の目的については、「温泉」（64.4%）が最も多く、次いで「美しい景色や風情のある景観」（41.1%）、「歴史や文化財に触れる」（27.9%）となっています。

【日帰り旅行の目的】



【宿泊旅行の目的】



(2) 奈良県の観光・レクリエーションに足りないと感じるもの

■奈良県の観光・レクリエーションに足りないと感じるものについては、「宿泊施設の充実」(41.7%)が最も多く、次いで「おいしい食べ物」(36.3%)、「魅力的なみやげ物」(27.0%)となっています。

■地域別に見ると、「北部」「西部」「中部」「東部」については、「宿泊施設の充実」が最も多く、次いで「おいしい食べ物」となっています。

「南東部」については、「おいしい食べ物」が最も多く、次いで「宿泊施設の充実」となっています。「南西部」については、「公共機関の充実」、「道路網の整備」の順で多くなっています。

■性別に見ると、男女とも「宿泊施設の充実」(男性：44.1%、女性39.6%)が最も多く、次いで「おいしい食べ物」(男性：34.7%、女性：37.7%)となっています。

■旧住民・新住民別に見ると、「奈良県にずっと住んでいる人」「奈良県に新しく来た人」とともに「宿泊施設の充実」(奈良県にずっと住んでいる人：44.5%、奈良県に新しく来た人：39.9%)が最も多く、次いで「おいしい食べ物」(奈良県にずっと住んでいる人：35.2%、奈良県に新しく来た人：38.1%)となっています。

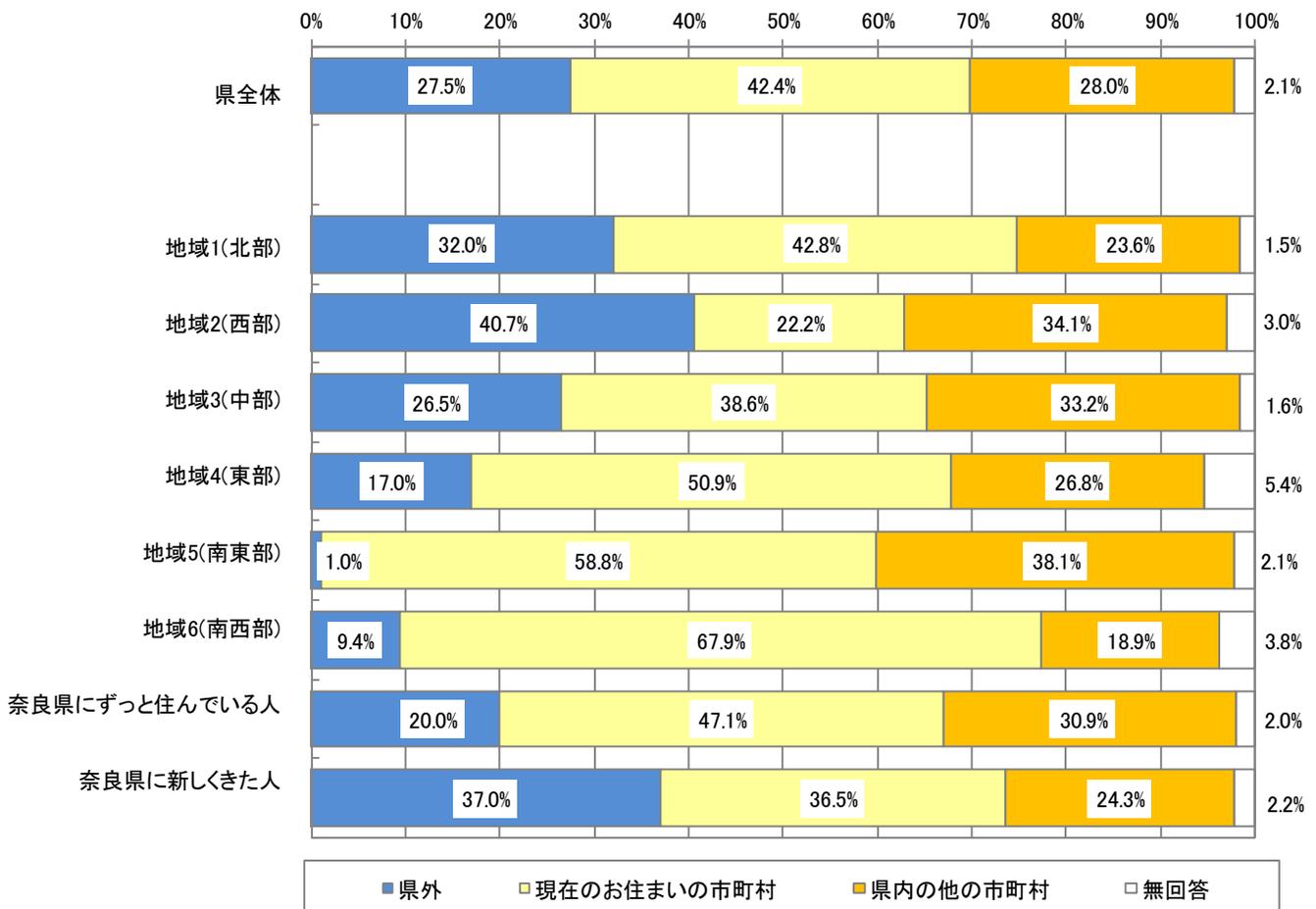
		全 体	宿 泊 施 設 の 充 実	夜 遅 く ま で 営 業 し て い る 飲 食 店	観 光 ル ー ト ・ プ ラ ン の 提 案	十 分 な 駐 車 場 の 確 保	観 光 案 内 板 等 の 充 実	観 光 地 や 宿 泊 施 設 な ど の 案 内 所	テ レ ビ や マ ス コ ミ を 使 っ た 観 光 資 源	お い し い 食 べ 物	魅 力 的 な み や げ 物	公 共 交 通 機 関 の 充 実	道 路 網 の 整 備	ト イ レ や 休 憩 所 の 整 備	観 光 ガ イ ド ・ イ ン ス ト ラ ク タ ー	高 齢 者 ・ 障 害 者 ・ 外 国 人 へ の 対 応	そ の 他	無 回 答
県全体		2,774 100.0%	1,157 41.7%	663 23.9%	528 19.0%	712 25.7%	216 7.8%	267 9.6%	630 22.7%	1,006 36.3%	750 27.0%	613 22.1%	623 22.5%	512 18.5%	95 3.4%	369 13.3%	138 5.0%	259 9.3%
地域別	北部	1,342 100.0%	577 43.0%	408 30.4%	264 19.7%	343 25.6%	103 7.7%	106 7.9%	319 23.8%	501 37.3%	374 27.9%	273 20.3%	287 21.4%	223 16.6%	50 3.7%	176 13.1%	75 5.6%	101 7.5%
	西部	249 100.0%	115 46.2%	54 21.7%	47 18.9%	61 24.5%	15 6.0%	26 10.4%	60 24.1%	105 42.2%	64 25.7%	58 23.3%	65 26.1%	53 21.3%	8 3.2%	33 13.3%	10 4.0%	17 6.8%
	中部	713 100.0%	305 42.8%	107 15.0%	136 19.1%	179 25.1%	54 7.6%	86 12.1%	151 21.2%	257 36.0%	204 28.6%	155 21.7%	153 21.5%	137 19.2%	23 3.2%	105 14.7%	30 4.2%	71 10.0%
	東部	194 100.0%	80 41.2%	44 22.7%	33 17.0%	52 26.8%	19 9.8%	27 13.9%	38 19.6%	63 32.5%	52 26.8%	52 26.8%	39 20.1%	39 20.1%	5 2.6%	25 12.9%	10 5.2%	23 11.9%
	南東部	178 100.0%	52 29.2%	32 18.0%	32 18.0%	50 28.1%	15 8.4%	12 6.7%	38 21.3%	60 33.7%	40 22.5%	44 24.7%	49 27.5%	43 24.2%	6 3.4%	27 15.2%	9 5.1%	31 17.4%
	南西部	98 100.0%	28 28.6%	18 18.4%	16 16.3%	27 27.6%	10 10.2%	10 10.2%	24 24.5%	20 20.4%	16 16.3%	31 31.6%	30 30.6%	17 17.3%	3 3.1%	3 3.1%	4 4.1%	16 16.3%
性別	男性	1,308 100.0%	577 44.1%	321 24.5%	252 19.3%	358 27.4%	106 8.1%	121 9.3%	324 24.8%	454 34.7%	312 23.9%	266 20.3%	390 29.8%	236 18.0%	45 3.4%	156 11.9%	81 6.2%	101 7.7%
	女性	1,464 100.0%	580 39.6%	342 23.4%	276 18.9%	353 24.1%	110 7.5%	146 10.0%	305 20.8%	552 37.7%	438 29.9%	347 23.7%	232 15.8%	276 18.9%	50 3.4%	212 14.5%	57 3.9%	158 10.8%
新旧住民別・	奈良県にずっと住んでいる人	1,381 100.0%	614 44.5%	330 23.9%	246 17.8%	368 26.6%	109 7.9%	132 9.6%	322 23.3%	486 35.2%	375 27.2%	293 21.2%	327 23.7%	260 18.8%	46 3.3%	173 12.5%	60 4.3%	142 10.3%
	奈良県に新しく来た人	1,314 100.0%	524 39.9%	319 24.3%	274 20.9%	330 25.1%	101 7.7%	128 9.7%	289 22.0%	500 38.1%	356 27.1%	301 22.9%	278 21.2%	238 18.1%	46 3.5%	182 13.9%	76 5.8%	97 7.4%

(注) 太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、赤色の網掛けを付した数値は最多項目を、青色の網掛けは2番目に多い項目を示している。

3-2 雇用対策の推進について

(1) 勤務地（県内外別）

- 県内外別の勤務地については、県内の「現在のお住まいの市町村」（42.4%）が最も多く、次いで「県内の他の市町村」（28.0%）となっています。
- 地域別に見ると、「西部」については「県外」（40.7%）が最も多く、次いで「県内の他の市町村」（34.1%）となっています。「西部」以外については、「現在お住まいの市町村」が最も多く、次いで「北部」では「県外」、「北部」以外では「県内の他の市町村」が多くなっています。
- 旧住民・新住民別に見ると、「奈良県にずっと住んでいる人」については、「現在お住まいの市町村（47.1%）」が最も多く、次いで「県内の他の市町村」（30.9%）が多くなっています。「奈良県に新しく来た人」については、「県外」（37.0%）、「現在お住まいの市町村」（36.5%）となっています。



(2) 女性が働き続けるために必要だと思うこと

■女性が働き続けるために必要だと思うことについては、「休暇制度の充実や職場環境づくり」（58.0%）が最も多く、次いで「施設やサービスの充実」（32.6%）となっています。

■性別に見ると、男女とも「休暇制度の充実や職場環境づくり」（男性：58.0%、女性：57.9%）が最も多く、次いで「施設やサービスの充実」（男性：32.0%、女性：33.2%）となっています。

■ライフステージ別に見ると、すべてのライフステージについて、「休暇制度の充実や職場環境づくり」が最も多く、次いで「育児期」「教育前期」「単身高齢者」については「労働時間の短縮や時間外勤務の免除」が多く、それ以外のステージでは「施設やサービスの充実」が多くなっています。

■旧住民・新住民別に見ると、どちらも「休暇制度の充実や職場環境づくり」（奈良県にずっと住んでいる人：58.4%、奈良県に新しく来た人：59.3%）が最も多く、次いで「施設やサービスの充実」（奈良県にずっと住んでいる人：30.1%、奈良県に新しく来た人：36.5%）となっています。

		全 体	育 児 や 介 護 の た め の 休 暇 制 度 の 充 実 や 利 用 し や す い 職 場 環 境 づ く り	職 場 で の 労 働 時 間 の 短 縮 や 時 間 外 勤 務 の 免 除	在 宅 勤 務 、 フ レ ク シ ブ な 就 業 機 会 の 充 実 や ワ ー ク ・ ラ イ フ ・ バ ラ ン ス に つ い て	職 場 に お け る 賃 金 や 昇 進 な ど の 男 女 の 格 差 の 解 消	働 く 女 性 の 事 例 紹 介 や 相 互 の 情 報 交 換 の 場 づ く り	企 業 で 再 雇 用 す る 制 度 の 普 及 や 退 職 者 を 同 一 業 界 で 再 雇 用 す る 制 度 の 普 及	学 生 を は じ め と し た 若 年 層 の 就 業 意 欲 の 向 上	技 能 ・ 技 術 を 身 に つ け る た め の 研 修 や 職 業 訓 練 の 機 会 の 充 実	通 勤 に 便 利 な 職 場 で の 勤 務	育 児 や 介 護 の た め の 施 設 や サ ー ビ ス の 充 実	女 性 が 働 く こ と に 対 し て の 夫 や 家 族 の 理 解 や 協 力 の 促 進	進 歩 の 家 事 や 育 児 、 介 護 等 へ の 参 加 促 進	ワ ー ク ・ ラ イ フ ・ バ ラ ン ス に つ い て の 意 識 改 善	そ の 他	無 回 答
県全体		2,774 100.0%	1,608 58.0%	761 27.4%	563 20.3%	200 7.2%	79 2.8%	288 10.4%	54 1.9%	78 2.8%	319 11.5%	905 32.6%	586 21.1%	391 14.1%	118 4.3%	46 1.7%	625 22.5%
性別	男性	1,308 100.0%	759 58.0%	314 24.0%	300 22.9%	103 7.9%	45 3.4%	144 11.0%	28 2.1%	32 2.4%	119 9.1%	419 32.0%	254 19.4%	149 11.4%	65 5.0%	23 1.8%	312 23.9%
	女性	1,464 100.0%	848 57.9%	447 30.5%	263 18.0%	97 6.6%	34 2.3%	144 9.8%	26 1.8%	46 3.1%	200 13.7%	486 33.2%	331 22.6%	242 16.5%	53 3.6%	22 1.5%	312 21.3%
ライフ ス テ ー ジ 別	若者	137 100.0%	98 71.5%	49 35.8%	36 26.3%	16 11.7%	7 5.1%	15 10.9%	3 2.2%	1 0.7%	16 11.7%	53 38.7%	39 28.5%	25 18.2%	10 7.3%	0 0.0%	9 6.6%
	夫婦	276 100.0%	177 64.1%	77 27.9%	69 25.0%	21 7.6%	8 2.9%	33 12.0%	6 2.2%	7 2.5%	37 13.4%	106 38.4%	58 21.0%	46 16.7%	14 5.1%	1 0.4%	39 14.1%
	育児期	234 100.0%	170 72.6%	104 44.4%	55 23.5%	17 7.3%	8 3.4%	22 9.4%	1 0.4%	3 1.3%	17 7.3%	90 38.5%	42 17.9%	45 19.2%	17 7.3%	11 4.7%	21 9.0%
	教育期前期	431 100.0%	291 67.5%	154 35.7%	103 23.9%	29 6.7%	9 2.1%	33 7.7%	4 0.9%	13 3.0%	63 14.6%	135 31.3%	119 27.6%	70 16.2%	12 2.8%	9 2.1%	55 12.8%
	教育期後期	124 100.0%	85 68.5%	34 27.4%	28 22.6%	12 9.7%	8 6.5%	13 10.5%	9 7.3%	6 4.8%	8 6.5%	56 45.2%	31 25.0%	20 16.1%	8 6.5%	1 0.8%	11 8.9%
	単身高齢者	131 100.0%	42 32.1%	24 18.3%	16 12.2%	8 6.1%	2 1.5%	10 7.6%	1 0.8%	6 4.6%	20 15.3%	23 17.6%	16 12.2%	7 5.3%	4 3.1%	3 2.3%	64 48.9%
	高齢者夫婦	433 100.0%	173 40.0%	79 18.2%	69 15.9%	25 5.8%	13 3.0%	37 8.5%	6 1.4%	11 2.5%	51 11.8%	102 23.6%	64 14.8%	36 8.3%	11 2.5%	4 0.9%	190 43.9%
	新 旧 住 民 別	奈良県にずっと住んでいる人	1,381 100.0%	807 58.4%	374 27.1%	257 18.6%	99 7.2%	46 3.3%	151 10.9%	28 2.0%	37 2.7%	150 10.9%	415 30.1%	319 23.1%	190 13.8%	53 3.8%	21 1.5%
奈良県に新しく来た人		1,314 100.0%	779 59.3%	376 28.6%	301 22.9%	96 7.3%	32 2.4%	132 10.0%	25 1.9%	39 3.0%	166 12.6%	479 36.5%	253 19.3%	191 14.5%	62 4.7%	25 1.9%	268 20.4%

(注) 太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、赤色の網掛けを付した数値は最多項目を、青色の網掛けは2番目に多い項目を示している。

(3) 女性が再就職するために必要だと思うこと

■女性が再就職するために必要だと思うことについては、「再雇用する制度の普及」（33.3%）が最も多く、次いで「休暇制度の充実や職場環境づくり」（22.1%）となっています。

■性別に見ると、男女とも「再雇用する制度の普及」（男性：34.6%、女性：32.0%）が最も多く、次いで男性については、「休暇制度の充実や職場環境づくり」（22.4%）、女性については「夫や家族の理解や協力の促進」（23.0%）となっています。

■ライフステージ別に見ると、すべてのライフステージについて、「再雇用する制度の普及」が最も多く（「単身高齢者」は「休暇制度の充実や職場環境づくり」も同率で最も高い。）、次いで「夫婦」については「施設やサービスの充実」、「育児期」については「休暇制度の充実や職場環境づくり」、「高齢者夫婦」については「労働時間の短縮や時間外勤務の免除」、それ以外では「夫や家族の理解や協力の促進」となっています。

■旧住民・新住民別で見ると、どちらも「再雇用する制度の普及」が最も多くなっています。次いで「奈良県にずっと住んでいる人」では「夫や家族の理解や協力の促進」を挙げられている一方で、「奈良県に新しくきた人」は「休暇制度の充実や職場環境づくり」が挙げられています。

		全 体	育 児 や 介 護 の た め の 休 暇 制 度 の 充 実 や 利 用 し や す い 職 場 環 境 づ く り	職 場 で の 労 働 時 間 の 短 縮 や 時 間 外 勤 務 の 免 除	在 宅 勤 務 、 フレ ック ス タ イ ム 制 な ど の 多 様 な 就 業 機 会 の 創 出	職 場 に お け る 賃 金 や 昇 進 な ど の 格 差 の 解 消	働 く 場 所 の 多 様 化 や 女 性 の 事 務 担 当 の 機 会 の 創 出	企 業 で 再 雇 用 す る 制 度 の 普 及 及 同 一 性 の 保 障	学 生 を は じ め と し た 若 年 層 の 就 業 意 欲 の 向 上	技 能 ・ 技 術 を 身 に つ け る た め の 研 修 や 職 業 訓 練 の 機 会 の 充 実	通 勤 に 便 利 な 職 場 で の 勤 務	育 児 や 介 護 の た め の 施 設 や サ ー ビ ス の 充 実	女 性 が 働 く こ と に 対 し て の 夫 や 家 族 の 理 解 や 協 力 の 促 進	夫 の 家 事 や 育 児 、 介 護 等 へ の 参 加 促 進	ワ ー ク ・ ラ イ フ ・ バ ラ ン ス に つ い て の 意 識 改 善	そ の 他	無 回 答
県全体		2,774 100.0%	612 22.1%	575 20.7%	552 19.9%	186 6.7%	252 9.1%	923 33.3%	19 0.7%	433 15.6%	379 13.7%	573 20.7%	604 21.8%	356 12.8%	167 6.0%	47 1.7%	675 24.3%
性別	男性	1,308 100.0%	293 22.4%	258 19.7%	289 22.1%	87 6.7%	133 10.2%	453 34.6%	12 0.9%	154 11.8%	147 11.2%	285 21.8%	267 20.4%	146 11.2%	85 6.5%	23 1.8%	327 25.0%
	女性	1,464 100.0%	319 21.8%	317 21.7%	263 18.0%	99 6.8%	119 8.1%	469 32.0%	7 0.5%	279 19.1%	232 15.8%	288 19.7%	337 23.0%	210 14.3%	82 5.6%	23 1.6%	347 23.7%
ライフ ステー ジ別	若者	137 100.0%	33 24.1%	31 22.6%	29 21.2%	17 12.4%	15 10.9%	72 52.6%	0 0.0%	25 18.2%	19 13.9%	35 25.5%	37 27.0%	24 17.5%	11 8.0%	0 0.0%	11 8.0%
	夫婦	276 100.0%	59 21.4%	59 21.4%	66 23.9%	21 7.6%	22 8.0%	108 39.1%	0 0.0%	57 20.7%	37 13.4%	69 25.0%	63 22.8%	41 14.9%	21 7.6%	2 0.7%	39 14.1%
	育児期	234 100.0%	70 29.9%	69 29.5%	54 23.1%	19 8.1%	26 11.1%	77 32.9%	2 0.9%	35 15.0%	33 14.1%	63 26.9%	56 23.9%	45 19.2%	17 7.3%	10 4.3%	22 9.4%
	教育期前期	431 100.0%	112 26.0%	93 21.6%	106 24.6%	28 6.5%	32 7.4%	143 33.2%	1 0.2%	100 23.2%	69 16.0%	90 20.9%	115 26.7%	68 15.8%	28 6.5%	10 2.3%	59 13.7%
	教育期後期	124 100.0%	35 28.2%	28 22.6%	24 19.4%	6 4.8%	12 9.7%	50 40.3%	2 1.6%	29 23.4%	15 12.1%	33 26.6%	42 33.9%	14 11.3%	15 12.1%	1 0.8%	14 11.3%
	単身高齢者	131 100.0%	25 19.1%	17 13.0%	15 11.5%	3 2.3%	5 3.8%	25 19.1%	0 0.0%	14 10.7%	18 13.7%	11 8.4%	20 15.3%	11 8.4%	8 6.1%	3 2.3%	67 51.1%
	高齢者夫婦	433 100.0%	62 14.3%	81 18.7%	62 14.3%	20 4.6%	35 8.1%	121 27.9%	3 0.7%	40 9.2%	53 12.2%	67 15.5%	46 10.6%	40 9.2%	14 3.2%	4 0.9%	197 45.5%
	旧住 民別・ 新住	奈良県にずっと住んでいる人	1,381 100.0%	303 21.9%	281 20.3%	254 18.4%	84 6.1%	131 9.5%	459 33.2%	10 0.7%	211 15.3%	184 13.3%	284 20.6%	320 23.2%	179 13.0%	84 6.1%	19 1.4%
奈良県に新しくきた人		1,314 100.0%	298 22.7%	284 21.6%	293 22.3%	99 7.5%	118 9.0%	454 34.6%	8 0.6%	217 16.5%	190 14.5%	281 21.4%	273 20.8%	171 13.0%	79 6.0%	27 2.1%	292 22.2%

(注) 太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、赤色の網掛けを付した数値は最多項目を、青色の網掛けは2番目に多い項目を示している。

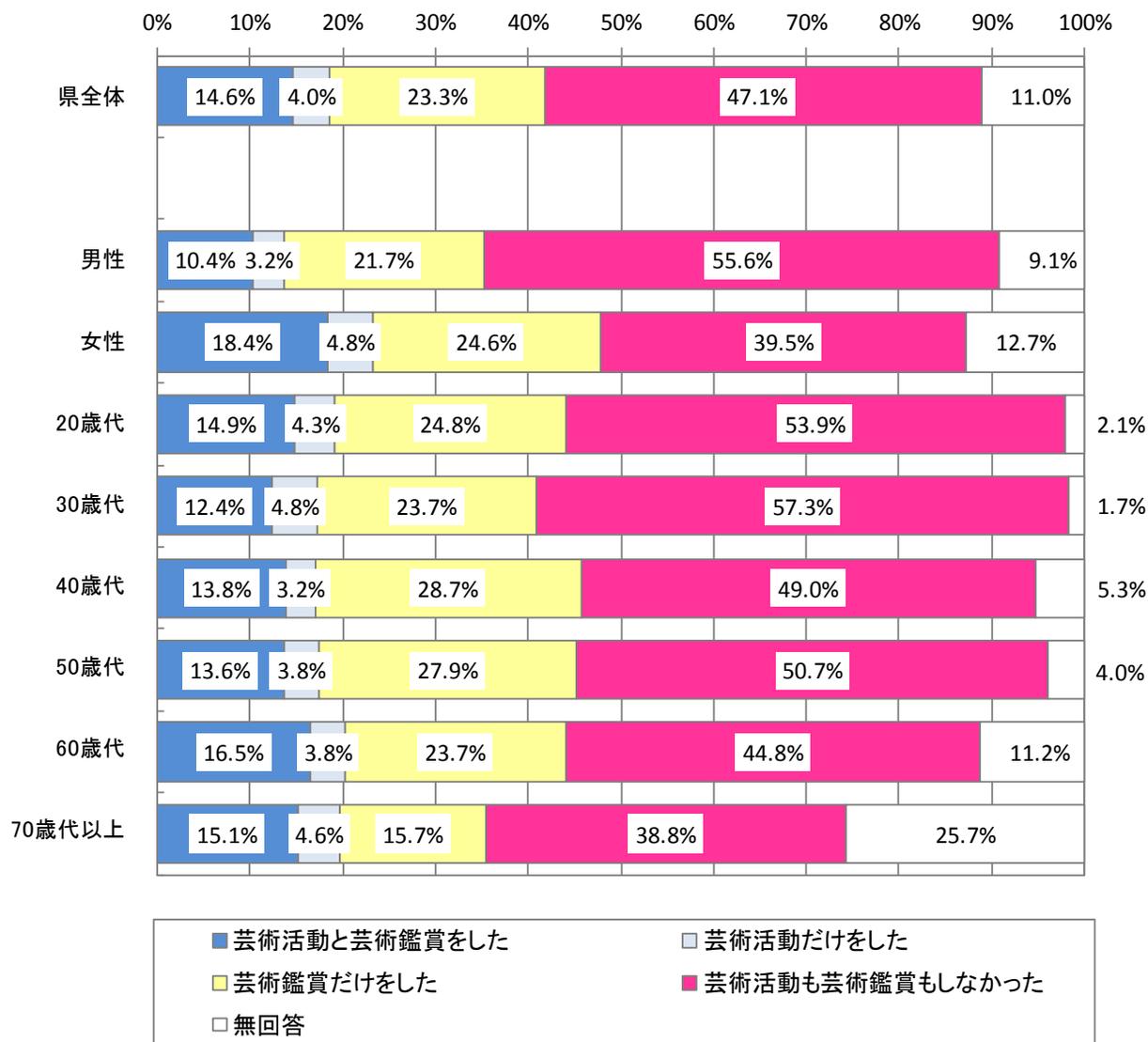
3-3 文化振興について

(1) この1年間の芸術活動や芸術鑑賞の有無

■この1年間の芸術活動や芸術鑑賞の有無については、「芸術活動も芸術鑑賞もしなかった」（47.1%）が最も多く、次いで「芸術鑑賞だけをした」（23.3%）となっています。

■性別に見ると、男女とも「芸術活動も芸術鑑賞もしなかった」（男性：55.6%、女性：39.5%）が最も多く、次いで「芸術鑑賞だけをした」（男性：21.7%、女性：24.6%）となっています。

■年代別に見ると、すべての年代について「芸術活動も芸術鑑賞もしなかった」が最も多く、次いで「芸術鑑賞だけをした」となっています。



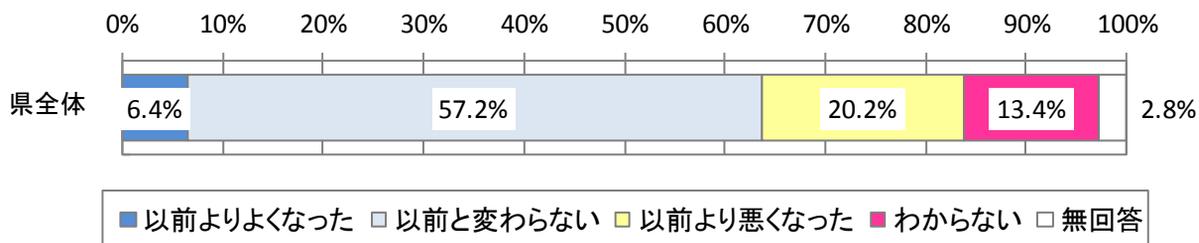
3-4 安全・安心の確保について

(1) 居住地域の治安状況／治安が悪化したと思う理由

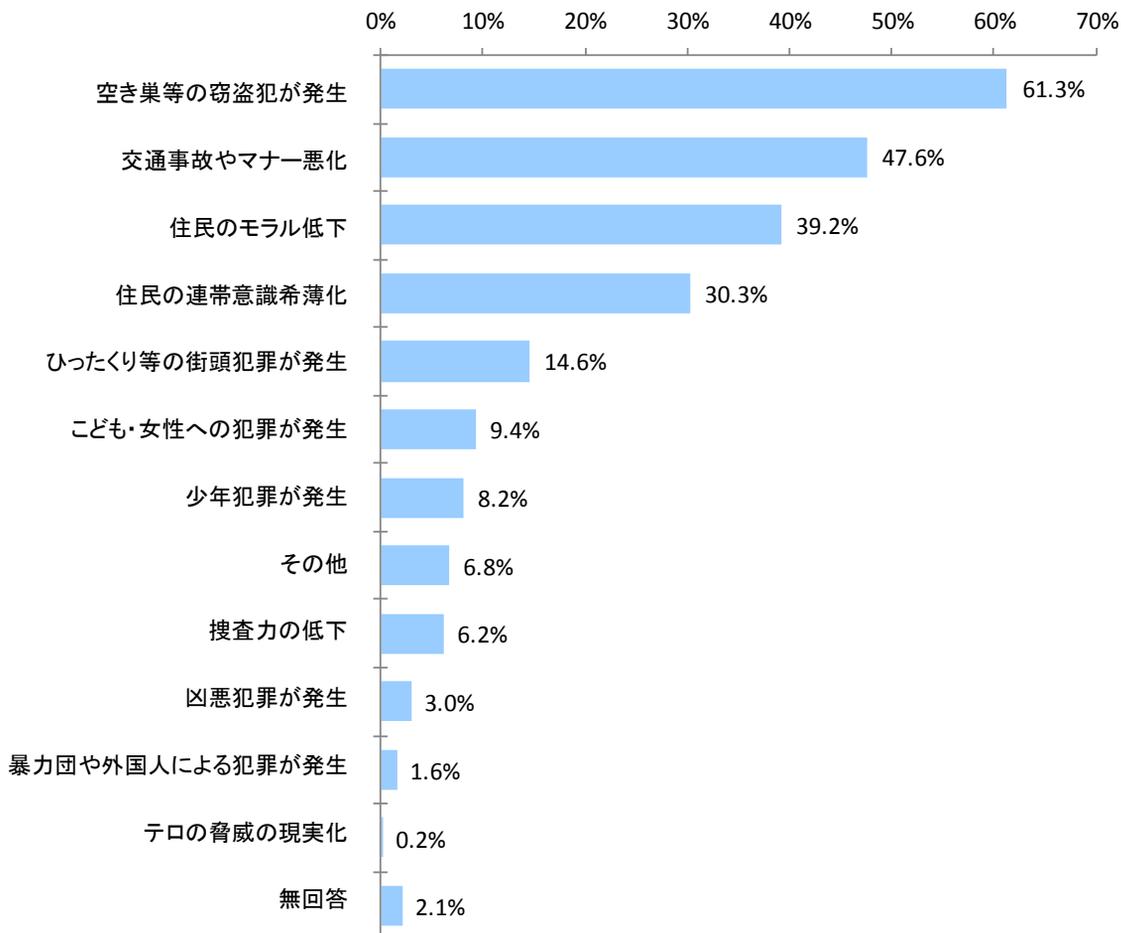
■居住地域の治安状況については、「以前と変わらない」(57.2%)が最も多く、次いで「以前より悪くなった」(20.2%)となっています。

■治安が悪化したと思う理由については、「空き巣等の窃盗犯が発生」(61.3%)が最も多く、次いで「交通事故やマナー悪化」(47.6%)、「住民のモラル低下」(39.2%)、「住民の連帯意識希薄化」(30.3%)となっています。

【居住地域の治安状況】



【治安が悪化したと思う理由】

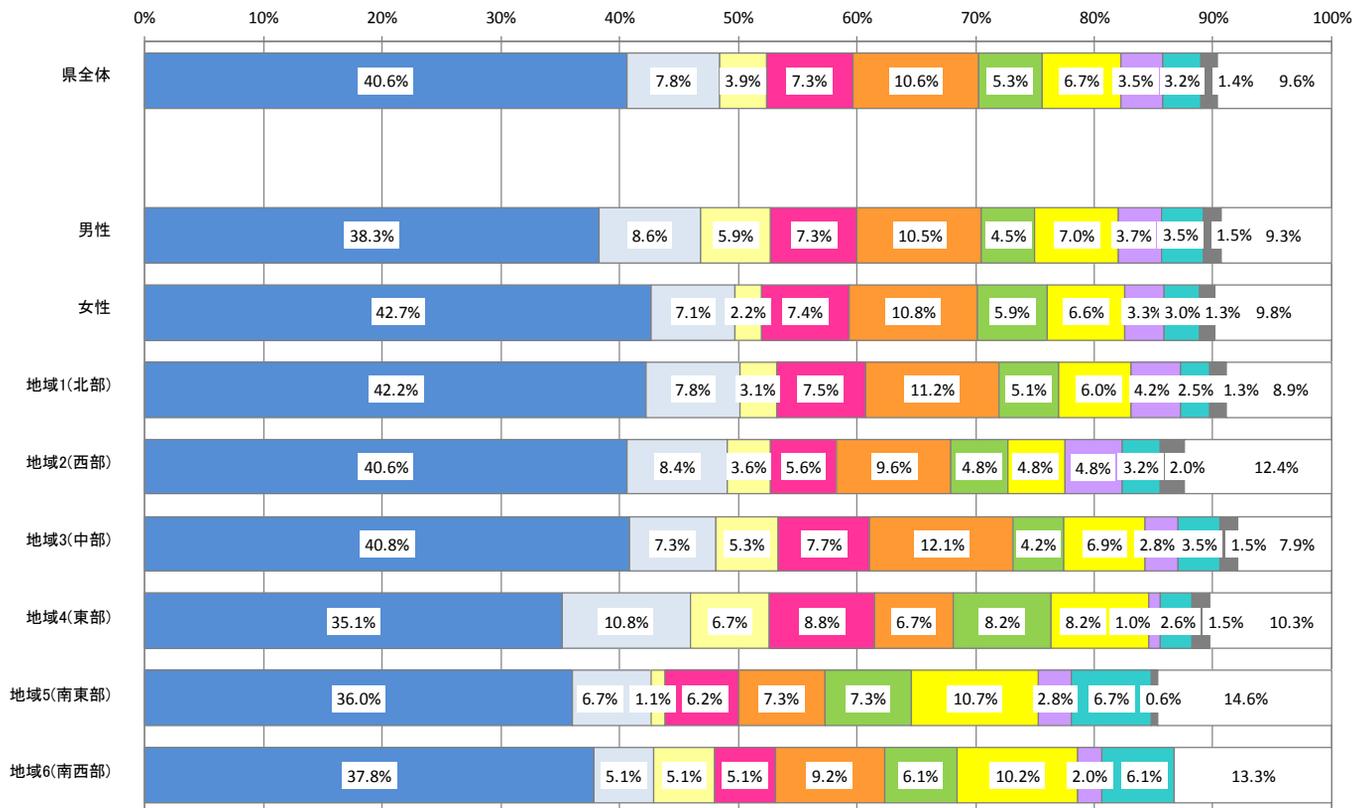


(2) 犯罪の被害に遭わないために警察に希望すること

■犯罪の被害に遭わないために警察に希望することについては、「警察官のパトロール強化」(40.6%)が最も多く、次いで「街頭防犯カメラの設置」(10.6%)となっています。

■性別に見ると、男女とも「警察官のパトロール強化」(男性：38.3%、女性：42.7%)が最も多く、次いで「街頭防犯カメラの設置」(男性：10.5%、女性：10.8%)となっています。

■地域別に見ると、すべての地域について「警察官のパトロール強化」(35%~42%)が最も多く、次いで「北部」「西部」「中部」については「街頭防犯カメラの設置」、「東部」については「犯罪者徹底検挙」、「南東部」「南西部」については「警察官の巡回連絡などの強化」となっています。



3-5 回答者について

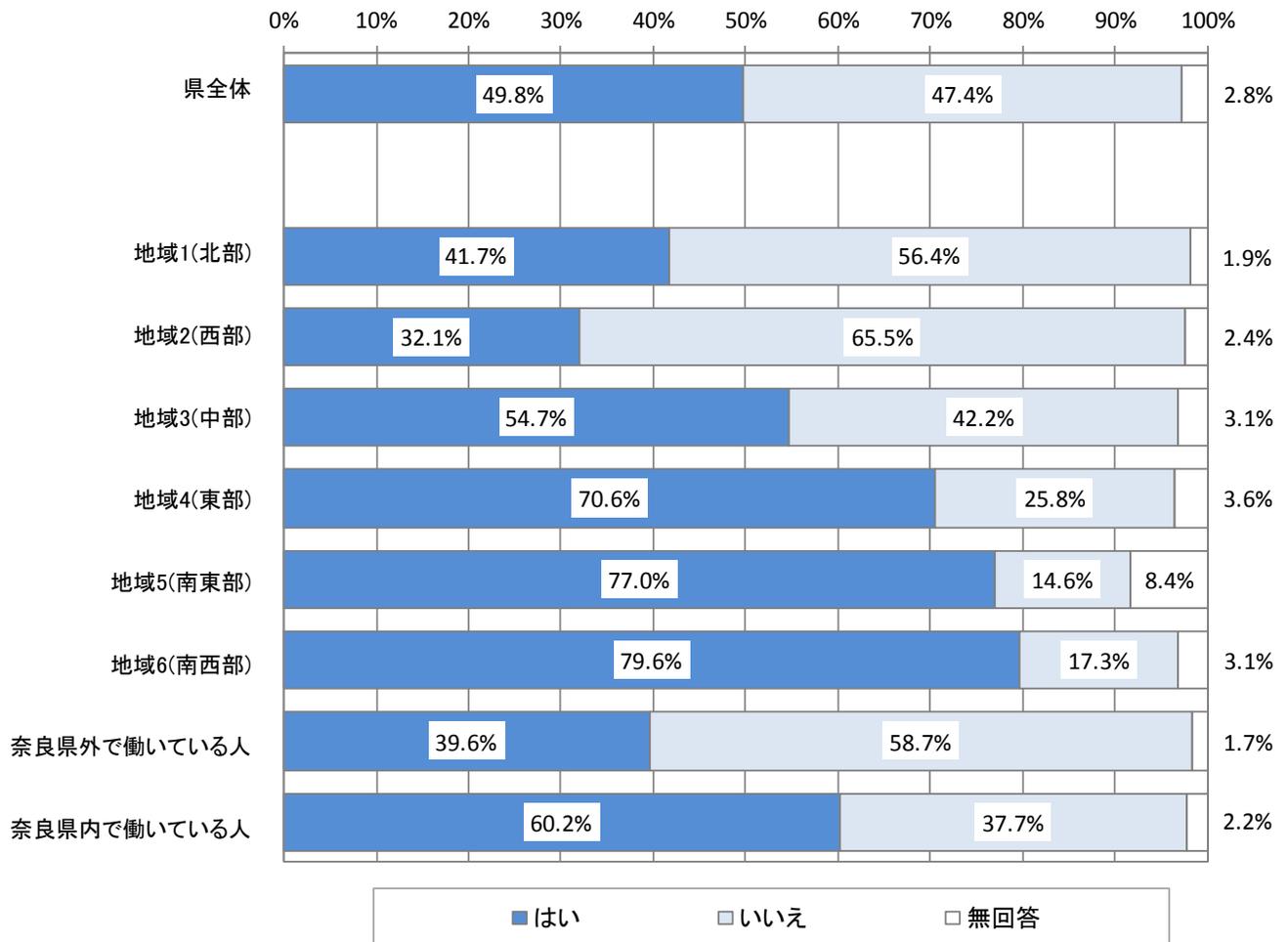
(1) 誕生時における奈良県での居住の有無

■誕生時における奈良県での居住の有無については、「奈良県にずっと住んでいる人」が49.8%「奈良県に新しく来た人」が47.4%とそれぞれ約半数となっています。

■地域別に見ると、「南西部」が「奈良県にずっと住んでいる人」(79.6%)が最も多く、次いで「南東部」(77.0%)「東部」(70.6%)となっています。

一方、「西部」は「奈良県に新しく来た人」(65.5%)が最も多くなっています。

■奈良での就労別に見ると、「奈良県外で働いている人」については、「奈良県に新しく来た人」(58.7%)が多く、「奈良県内で働いている人」については、「奈良県にずっと住んでいる人」(60.2%)が多くなっています。



(2) 奈良県での居住理由

■奈良県での居住理由については、「家族や自分の仕事の都合」(37.1%)が最も多く、次いで「住環境がよいから」(24.8%)、「結婚したから」(21.2%)となっています。

■地域別に見ると、「北部」「中部」「南東部」で「家族や自分の仕事の都合」、「東部」「南西部」で「家を継ぐため」、「西部」で「住環境がよいから」が最も多く挙げられています。

また「東部」「南東部」「南西部」では、「家族や自分の仕事の都合」「家を継ぐため」が上位項目に挙げられています。

■旧住民・新住民別に見ると、どちらも「家族や自分の仕事の都合」(奈良県にずっと住んでいる人：40.2%、奈良県に新しく来た人：35.6%)が最も多く、次いで「奈良県にずっと住んでいる人」については「家を継ぐため」(33.8%)、「奈良県に新しく来た人」については、「住環境がよいから」(31.5%)となっています。

■奈良での就労別に見ると、どちらも「家族や自分の仕事の都合」(奈良県外で働いている人：38.6%、奈良内で働いている人：50.8%)が最も多く、次いで「奈良県外で働いている人」については、「自然が豊かななどの面で住環境がよいから」(30.8%)、「奈良県内で働いている人」については、「家を継ぐため」(22.9%)となっています。

		全 体	家 族 や 自 分 の し 業 の 都 合	結 婚 し た か ら	子 ど も や 孫 の 育 児 の た め	家 を 継 ぐ た め	住 宅 を 購 入 し や す い か ら 、 ま	親 の 介 護 の た め	子 ど も や 孫 の 就 学 や 進 学	環 境 が よ い か ら の 面 で 住	自 然 が 豊 か な ど の 面 で 住	利 便 さ や 日 常 の 買 い 物 が 便	そ の 他	無 回 答
県全体		2,774 100.0%	1,030 37.1%	587 21.2%	55 2.0%	536 19.3%	259 9.3%	118 4.3%	50 1.8%	688 24.8%	121 4.4%	293 10.6%	99 3.6%	
地域別	北部	1,342 100.0%	537 40.0%	255 19.0%	26 1.9%	197 14.7%	122 9.1%	57 4.2%	33 2.5%	371 27.6%	65 4.8%	154 11.5%	39 2.9%	
	西部	249 100.0%	75 30.1%	54 21.7%	3 1.2%	28 11.2%	55 22.1%	10 4.0%	2 0.8%	85 34.1%	14 5.6%	22 8.8%	9 3.6%	
	中部	713 100.0%	258 36.2%	169 23.7%	20 2.8%	146 20.5%	68 9.5%	30 4.2%	11 1.5%	153 21.5%	33 4.6%	79 11.1%	24 3.4%	
	東部	194 100.0%	62 32.0%	42 21.6%	2 1.0%	66 34.0%	11 5.7%	8 4.1%	2 1.0%	36 18.6%	7 3.6%	17 8.8%	13 6.7%	
	南東部	178 100.0%	66 37.1%	43 24.2%	4 2.2%	59 33.1%	2 1.1%	9 5.1%	2 1.1%	29 16.3%	1 0.6%	11 6.2%	12 6.7%	
	南西部	98 100.0%	32 32.7%	24 24.5%	0 0.0%	40 40.8%	1 1.0%	4 4.1%	0 0.0%	14 14.3%	1 1.0%	10 10.2%	2 2.0%	
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,381 100.0%	555 40.2%	225 16.3%	27 2.0%	467 33.8%	27 2.0%	71 5.1%	18 1.3%	268 19.4%	51 3.7%	166 12.0%	33 2.4%	
	奈良県に新しく来た人	1,314 100.0%	468 35.6%	357 27.2%	28 2.1%	60 4.6%	232 17.7%	47 3.6%	32 2.4%	414 31.5%	67 5.1%	124 9.4%	11 0.8%	
奈良での就労別	奈良県外で働いている人	409 100.0%	158 38.6%	61 14.9%	13 3.2%	65 15.9%	64 15.6%	24 5.9%	9 2.2%	126 30.8%	18 4.4%	44 10.8%	10 2.4%	
	奈良県内で働いている人	1,049 100.0%	533 50.8%	196 18.7%	12 1.1%	240 22.9%	49 4.7%	40 3.8%	13 1.2%	183 17.4%	32 3.1%	103 9.8%	31 3.0%	

(注) 太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、赤色の網掛けを付した数値は最多項目を、青色の網掛けは2番目に多い項目を示している。

平成25年度
県民アンケート調査
報 告 書

平成25年11月

奈良県総務部知事公室統計課
〒630-8501 奈良市登大路町30番地
電話 0742-27-8439
